

瑞穂市
障がい者のくらしに関する
アンケート調査

報 告 書

平成21年3月

瑞 穂 市

目 次

1	調査概要	1
2	調査結果	2
	(1) 回答者自身について	2
	(2) 相談について	9
	(3) 福祉サービスについて	16
	(4) 就労について	28
	(5) 災害など緊急事態の対応について	38
	(6) 医療や地域生活について	45
	(7) 障がい者施策について	47
3	自由意見	53

1 調査概要

①調査目的

瑞穂市障害者計画・瑞穂市障害福祉計画の策定を行うための基礎資料とするため、市内在住の身体・知的・精神障がい者（児）を対象にアンケート調査を実施しました。

②調査対象

身体障がい者

市内在住の 65 歳未満身体障害者手帳所持者 478 人

知的障がい者

市内在住の 65 歳未満療育手帳所持者 194 人

精神障がい者

市内在住の 65 歳未満精神障害者保健福祉手帳所持者 100 人

③調査方法

郵送による配布 返信用封筒による回収

④調査期間

調査期間 平成 20 年 9 月 26 日～10 月 8 日

⑤回答数

	配布数	回収数	回収率
身体障がい者	478 件	256 件	53.6%
知的障がい者	194 件	118 件	60.8%
精神障がい者	100 件	54 件	54.0%

⑥調査結果の表示方法

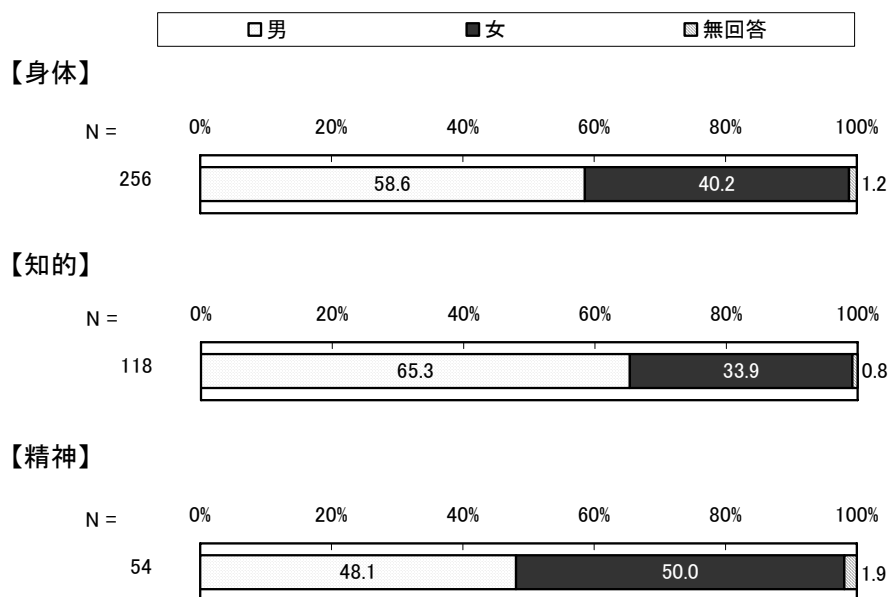
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。

2 調査結果

(1)回答者自身について

問 あなたの性別について、どちらかに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「男」の割合が 58.6%、「女」の割合が 40.2%となっています。
知的障がいのある人では、「男」の割合が 65.3%、「女」の割合が 33.9%となっています。
精神障がいのある人では、「男」の割合が 48.1%、「女」の割合が 50.0%となっています。

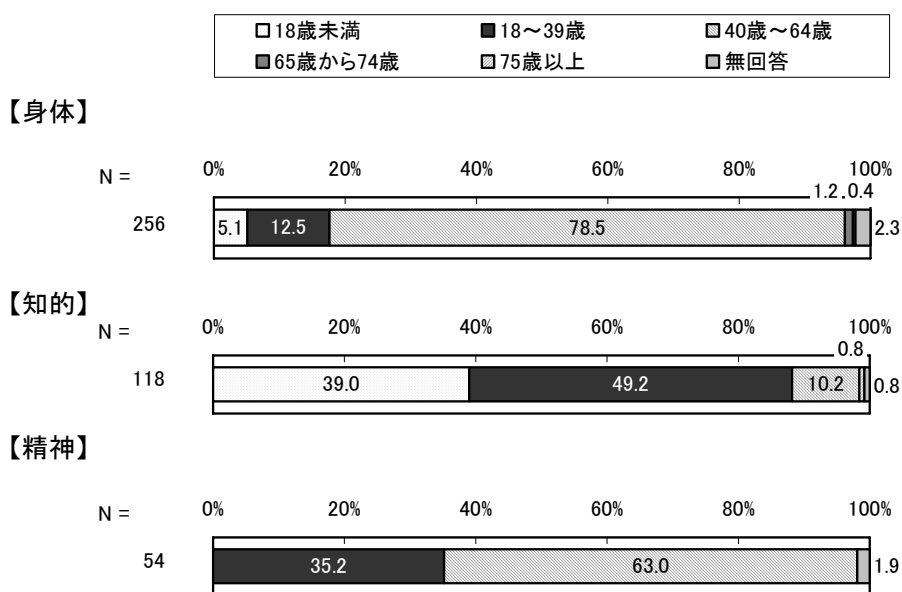


問 あなたの年齢を記入してください。(平成 20 年 8 月 1 日現在)

身体障がいのある人では、「40 歳～64 歳」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「18～39 歳」の割合が 12.5%、「18 歳未満」の割合が 5.1%となっています。

知的障がいのある人では、「18～39 歳」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「18 歳未満」の割合が 39.0%、「40～64 歳」の割合が 10.2%となっています。

精神障がいのある人では、「40～64 歳」の割合が 63.0%、「18～39 歳」の割合が 35.2%となっています。

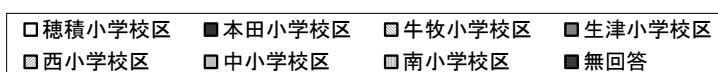


問 あなたのお住まいの小学校区はどこですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

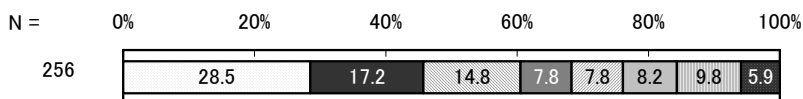
身体障がいのある人では、「穂積小学校区」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「本田小学校区」の割合が 17.2%、「牛牧小学校区」の割合が 14.8%となっています。

知的障がいのある人では、「穂積小学校区」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「本田小学校区」の割合が 16.9%、「牛牧小学校区」の割合が 16.9%となっています。

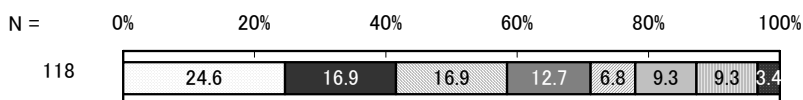
精神障がいのある人では、「穂積小学校区」の割合が 20.4%と最も高く、次いで「中小小学校区」の割合が 16.7%、「生津小学校区」の割合が 14.8%となっています。



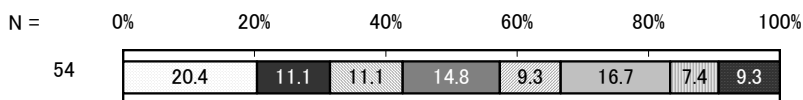
【身体】



【知的】



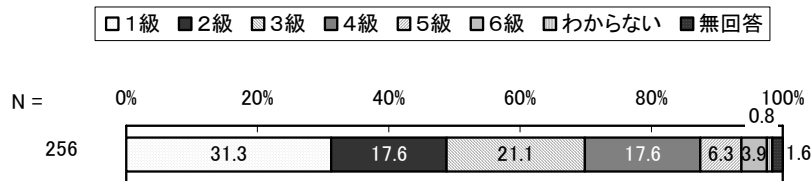
【精神】



問 身体障害者手帳の等級は何級ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「1級」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3級」の割合が21.1%、「2級」「4級」の割合がともに17.6%となっています。

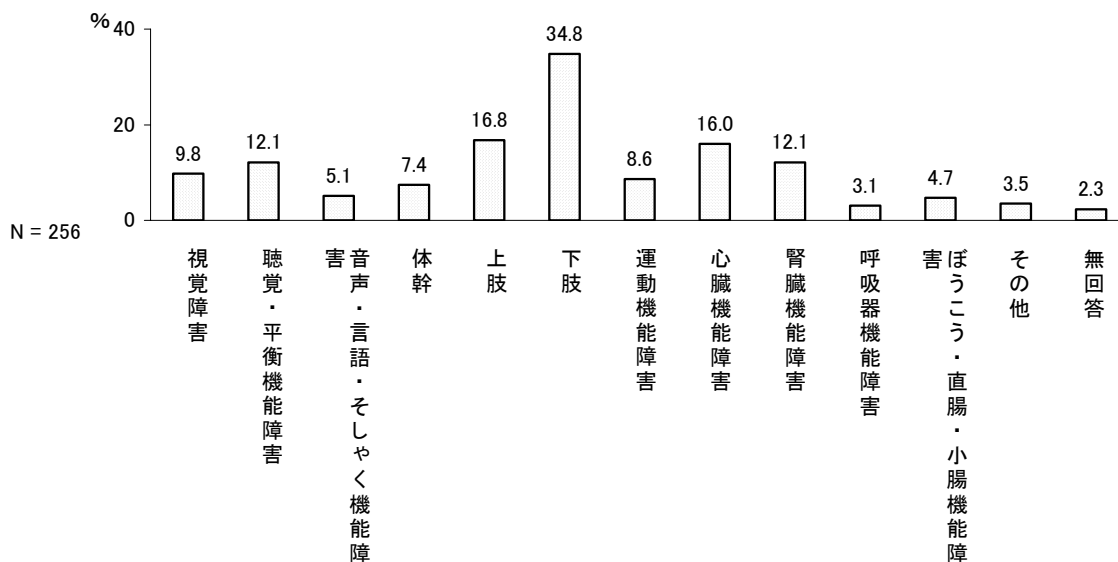
【身体】



問 あなたの障がいの部位はどれですか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

「下肢」の割合が34.8%と最も高く、次いで「上肢」の割合が16.8%、「心臓機能障害」の割合が16.0%となっています。

【身体】



問 療育手帳の判定は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「B 1」の割合が28.0%と最も高く、次いで「B 2」の割合が26.3%、「A 2」の割合が20.3%となっています。

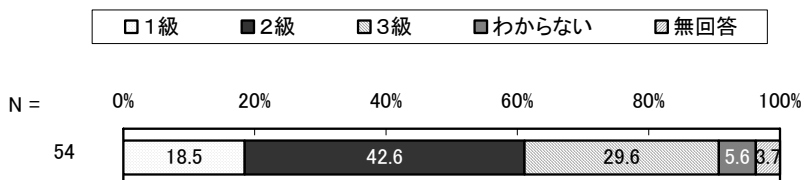
【知的】



問 精神障害者保健福祉手帳の等級は何級ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「2級」の割合が42.6%と最も高く、次いで「3級」の割合が29.6%、「1級」の割合が18.5%となっています。

【精神】



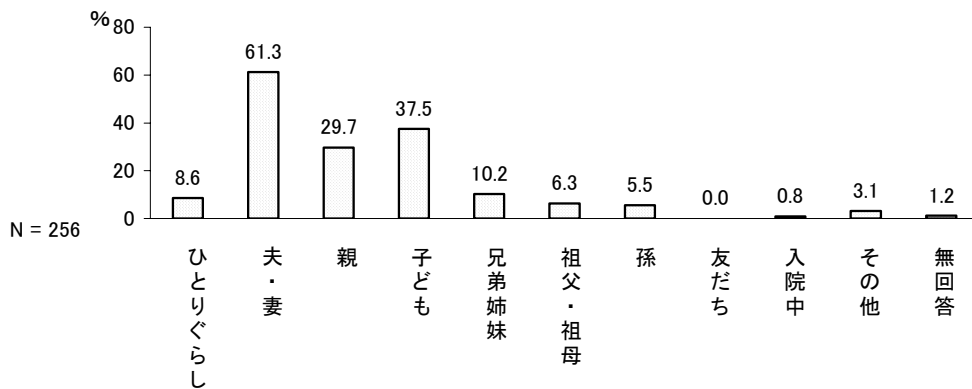
問 あなたは今、だれと一緒にくらしていますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

身体障がいのある人では、「夫・妻」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「子ども」の割合が 37.5%、「親」の割合が 29.7%となっています。

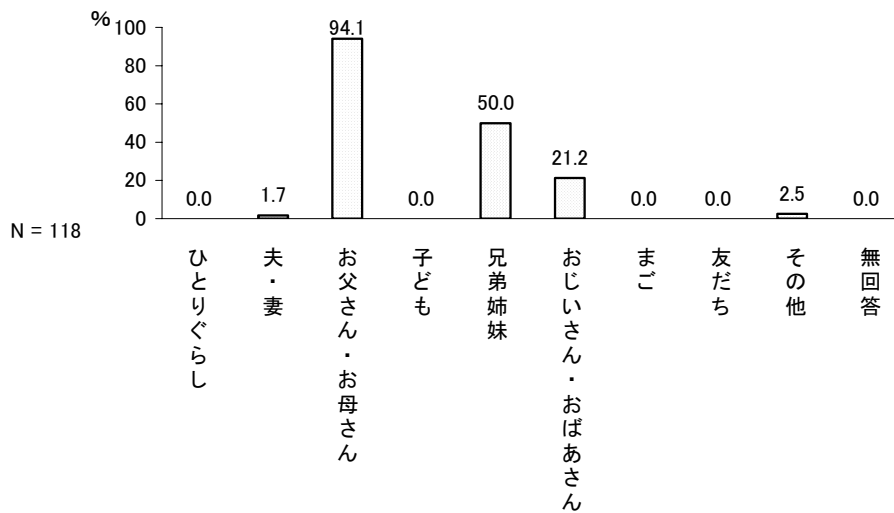
知的障がいのある人では、「お父さん・お母さん」の割合が 94.1%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が 50.0%、「おじいさん・おばあさん」の割合が 21.2%となっています。

精神障がいのある人では、「親」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「夫・妻」の割合が 31.5%、「子ども」の割合が 24.1%となっています。

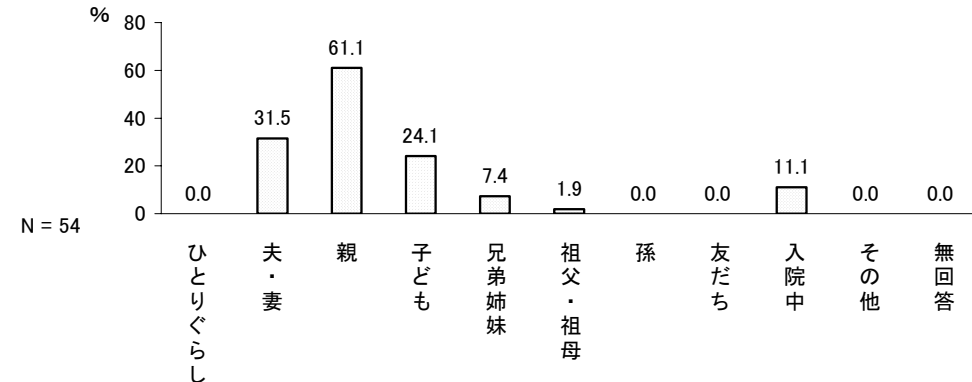
【身体】



【知的】



【精神】

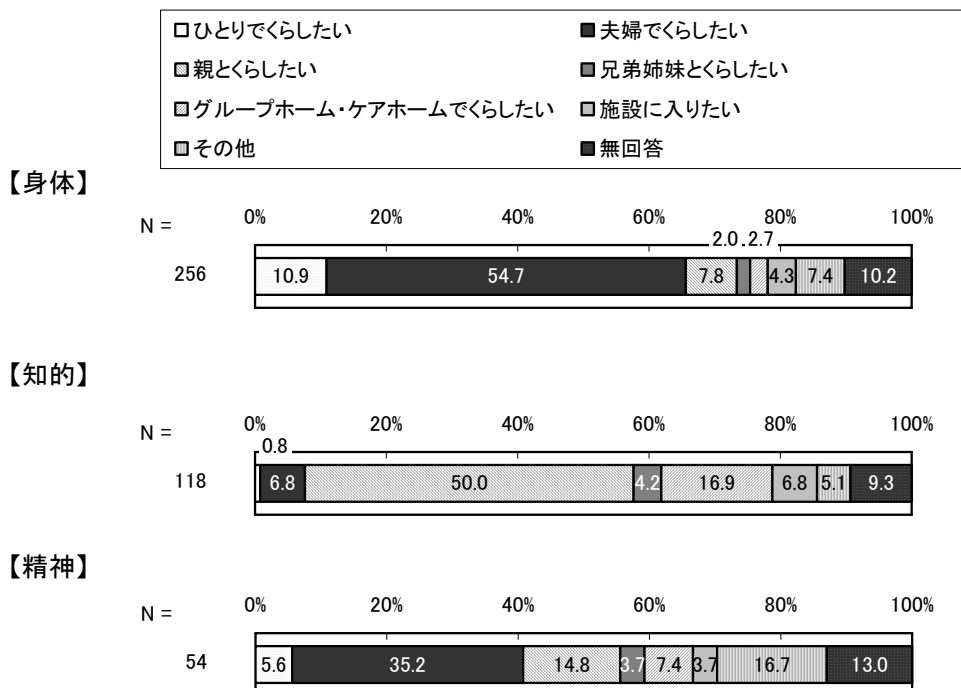


問 あなたは、将来どのような暮らしをしたいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がいのある人では、「夫婦で暮らしたい」の割合が54.7%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしたい」の割合が10.9%、「親と暮らしたい」の割合が7.8%となっています。

知的障がいのある人では、「親と暮らしたい」の割合が50.0%と最も高く、次いで「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」の割合が16.9%、「夫婦で暮らしたい」の割合が6.8%となっています。

精神障がいのある人では、「夫婦で暮らしたい」の割合が35.2%と最も高く、次いで「親と暮らしたい」の割合が14.8%、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」の割合が7.4%となっています。



(2)相談について

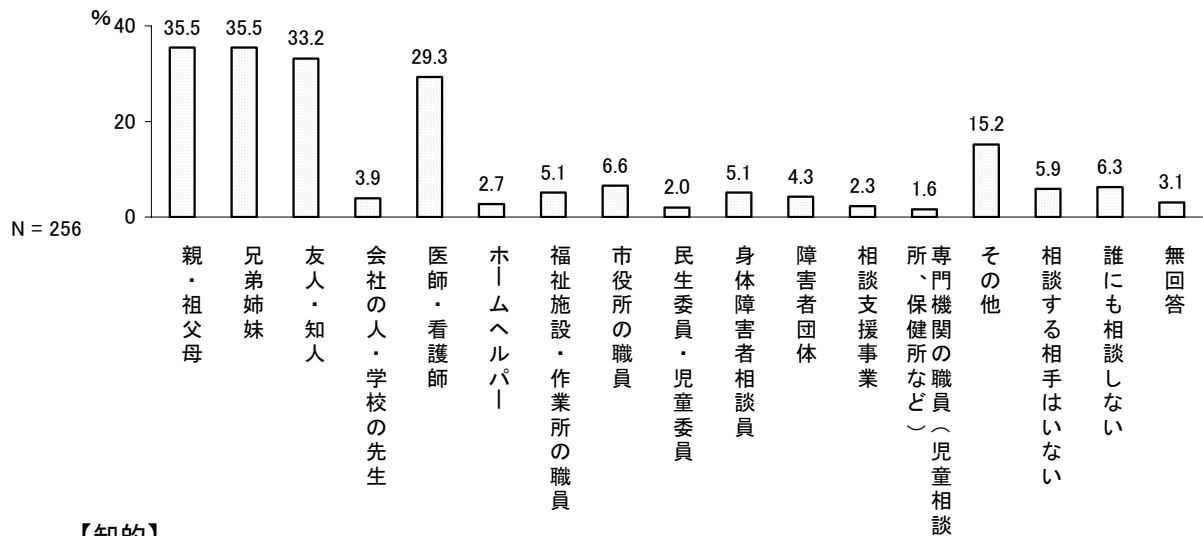
問 あなたが悩みや困ったことを相談するのはだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「親・祖父母」「兄弟姉妹」の割合がともに 35.5%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 33.2%となっています。

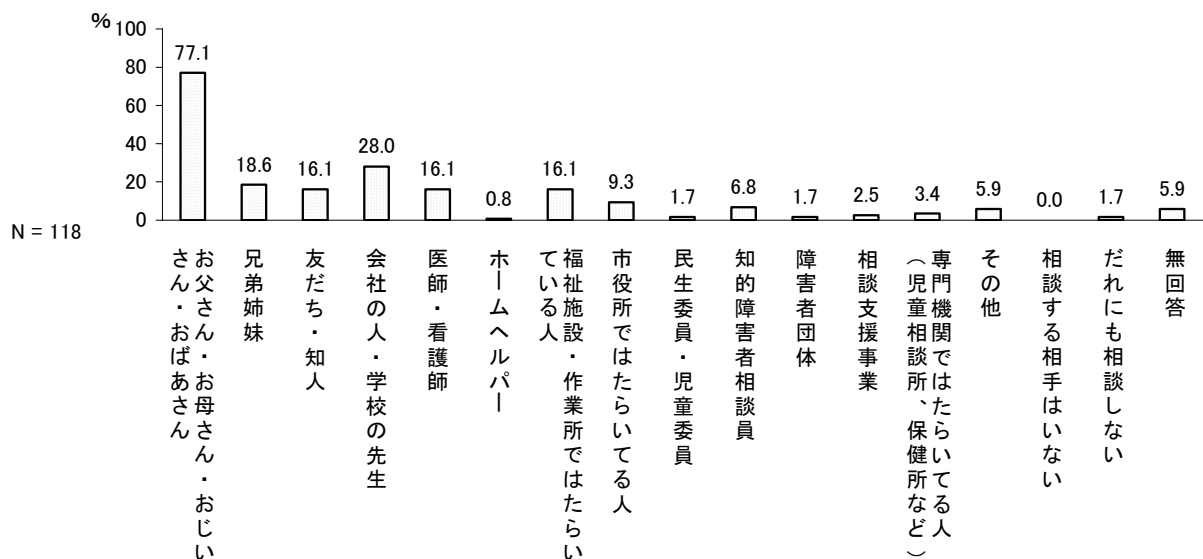
知的障がいのある人では、「お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「会社の人・学校の先生」の割合が 28.0%、「兄弟姉妹」の割合が 18.6%となっています。

精神障がいのある人では、「親・祖父母」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「医師・看護師」の割合が 48.1%、「兄弟姉妹」の割合が 24.1%となっています。

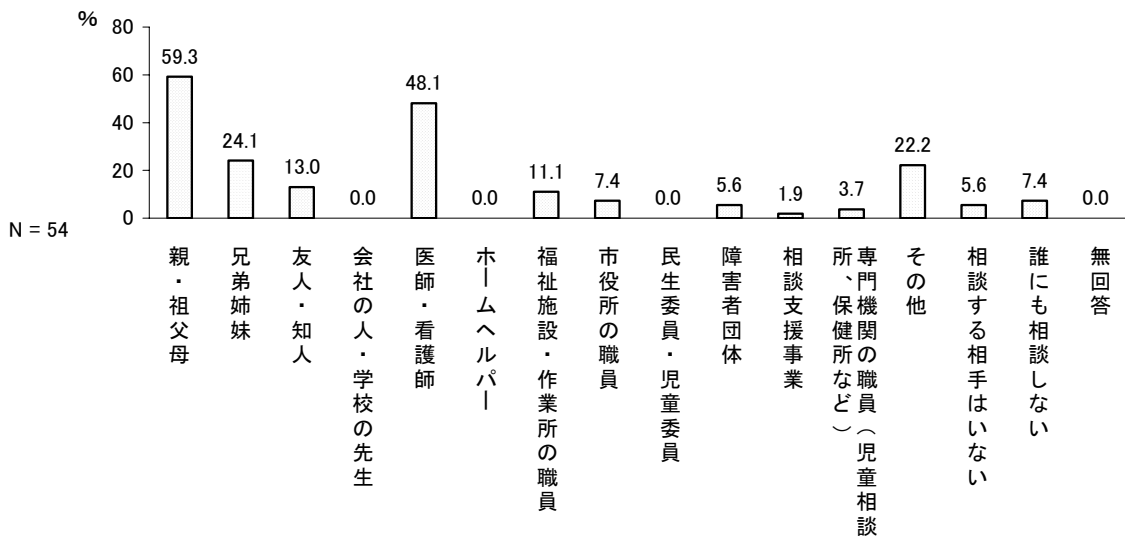
【身体】



【知的】



【精神】



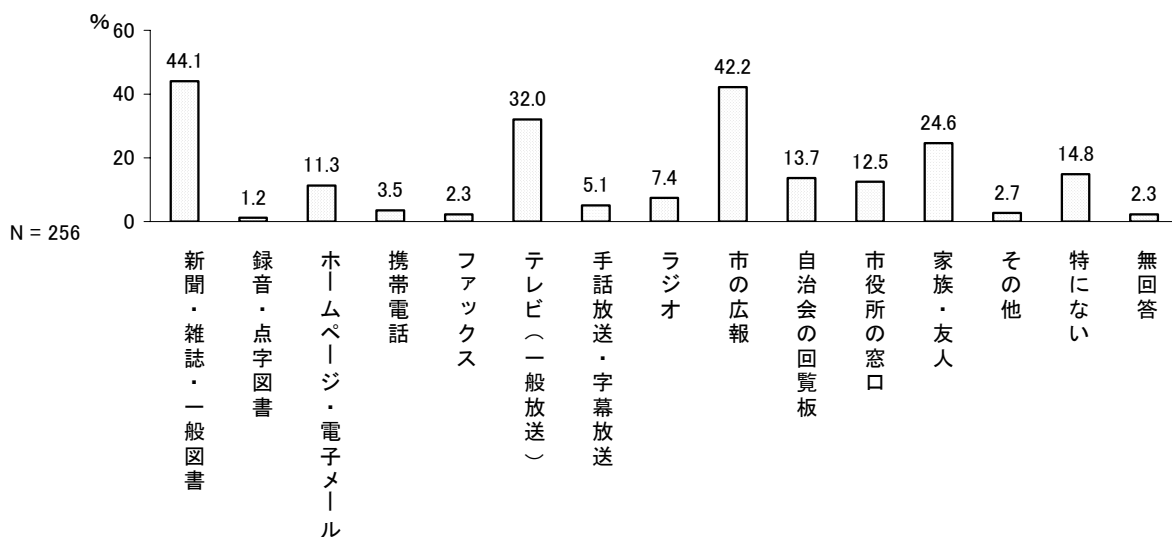
問 あなたは、現在、どのような方法で福祉などの情報を得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「新聞・雑誌・一般図書」の割合が44.1%と最も高く、次いで「市の広報」の割合が42.2%、「テレビ（一般放送）」の割合が32.0%となっています。

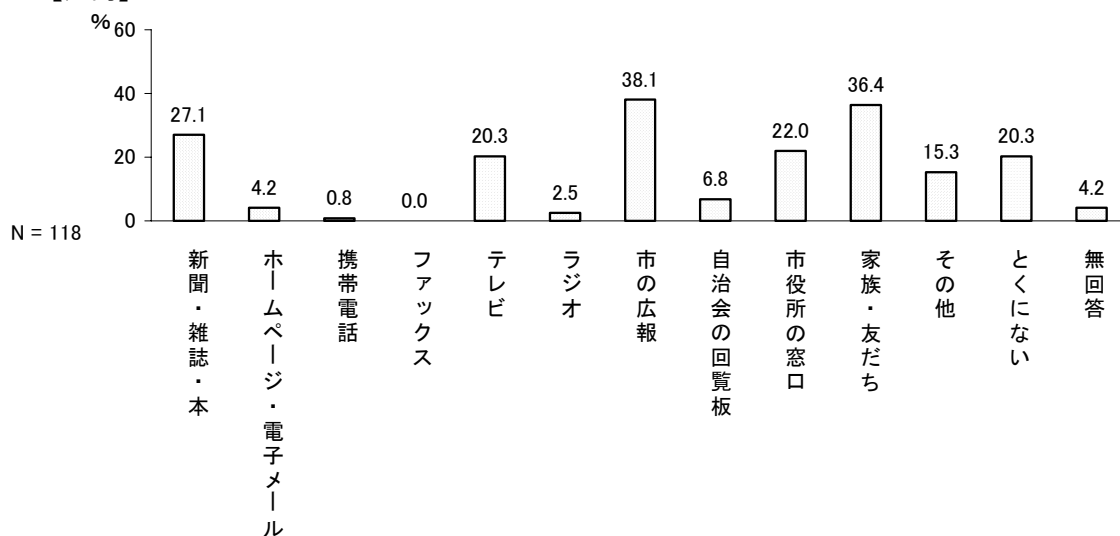
知的障がいのある人では、「市の広報」の割合が38.1%と最も高く、次いで「家族・友だち」の割合が36.4%、「新聞・雑誌・本」の割合が27.1%となっています。

精神障がいのある人では、「新聞・雑誌・一般図書」の割合が31.5%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が27.8%、「家族・友人」の割合が25.9%となっています。

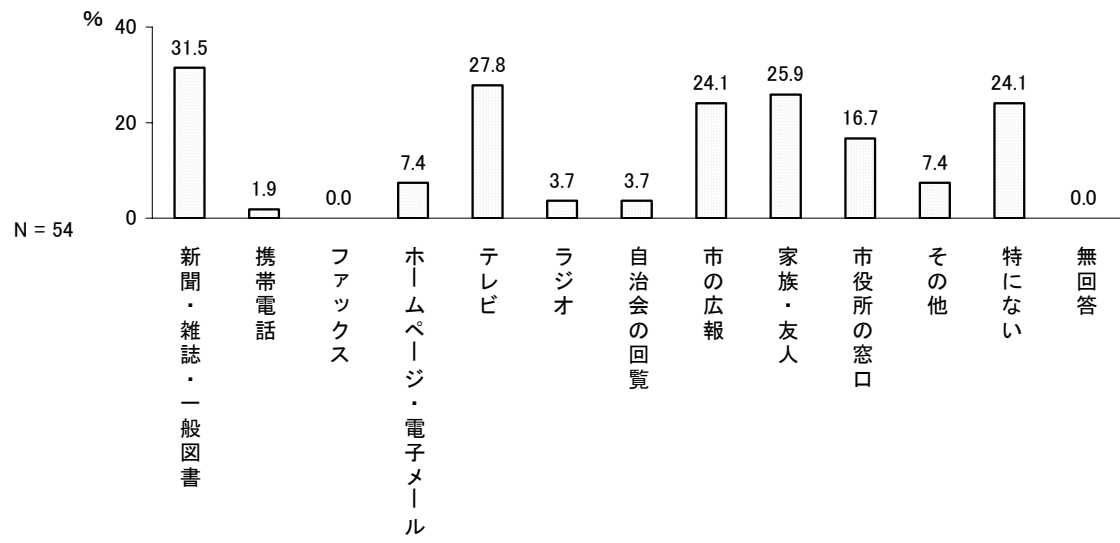
【身体】



【知的】



【精神】

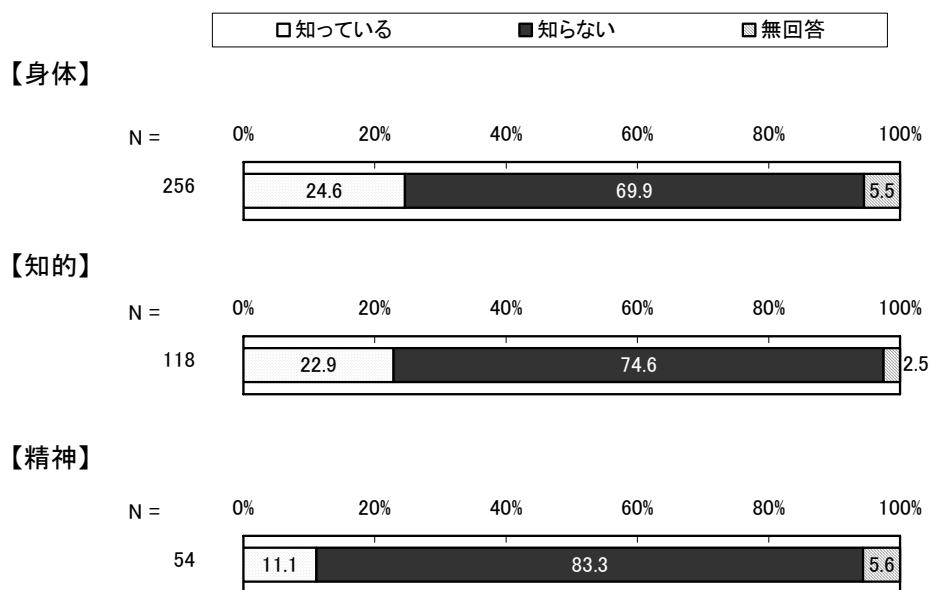


問 相談支援事業について知っていますか。どちらかに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「知っている」の割合が24.6%、「知らない」の割合が69.9%となっています。

知的障がいのある人では、「知っている」の割合が22.9%、「知らない」の割合が74.6%となっています。

精神障がいのある人では、「知っている」の割合が11.1%、「知らない」の割合が83.3%となっています。

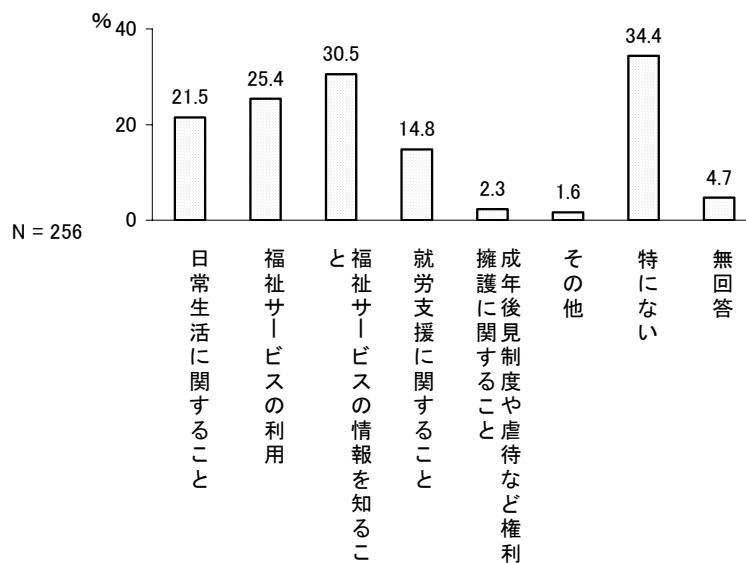


問 あなたが相談したいと思うことはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

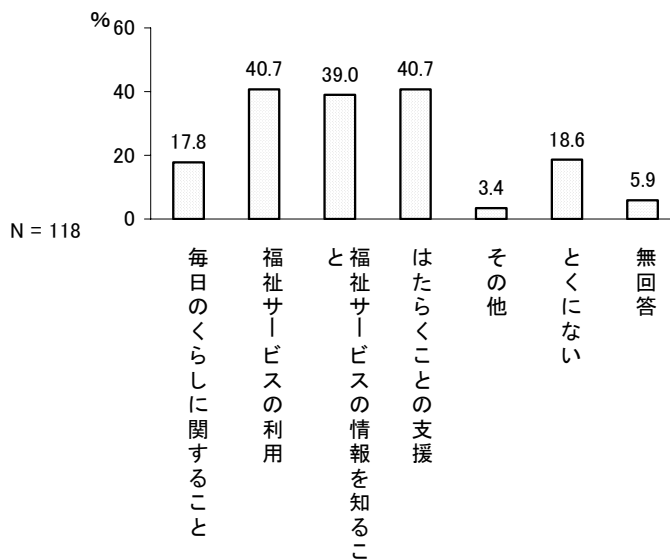
身体障がいのある人では、「特にない」を除くと「福祉サービスの情報を知ること」の割合が30.5%と最も高く、次いで、「福祉サービスの利用」の割合が25.4%、「日常生活に関すること」の割合が21.5%となっています。

知的障がいのある人では、「福祉サービスの利用」「はたらくことの支援」の割合がともに40.7%と最も高く、次いで「福祉サービスの情報を知ること」の割合が39.0%となっています。

【身体】



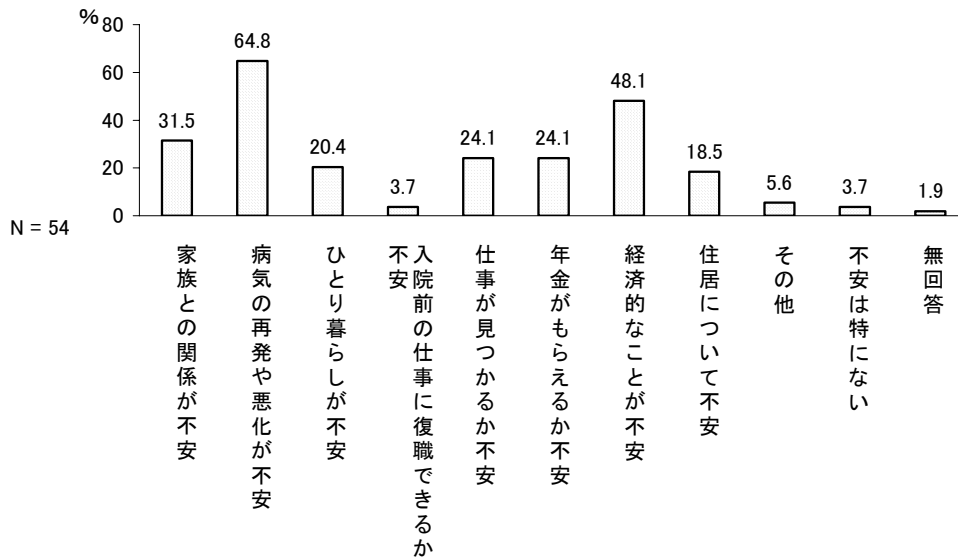
【知的】



問 あなたの現在の生活で不安なことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「病気の再発や悪化が不安」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「経済的なことが不安」の割合が 48.1%、「家族との関係が不安」の割合が 31.5%となっています。

【精神】



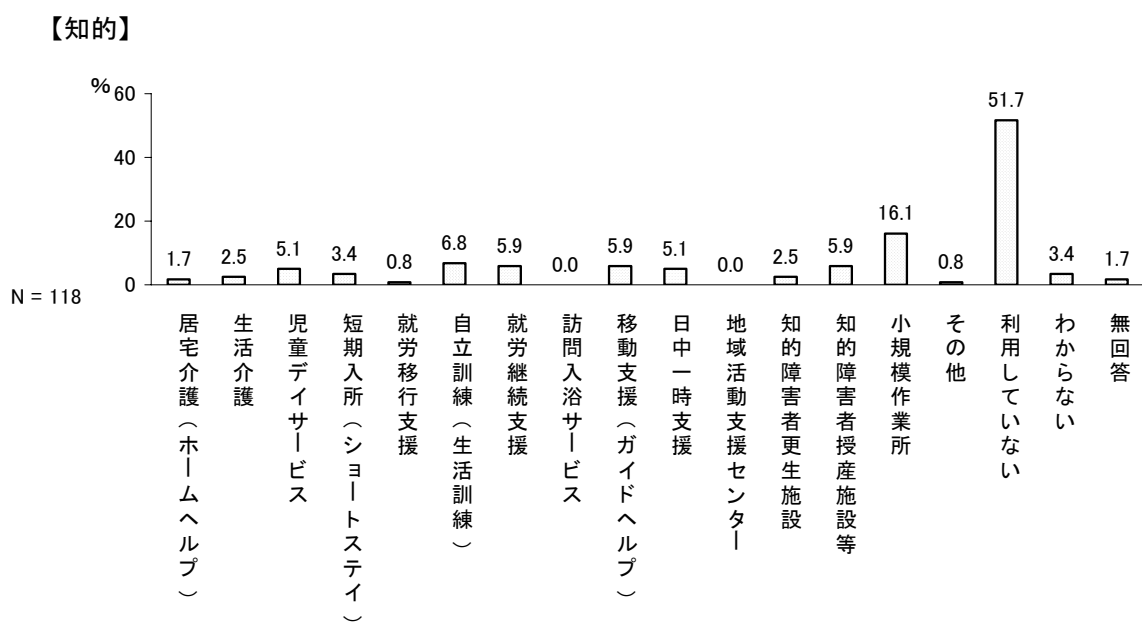
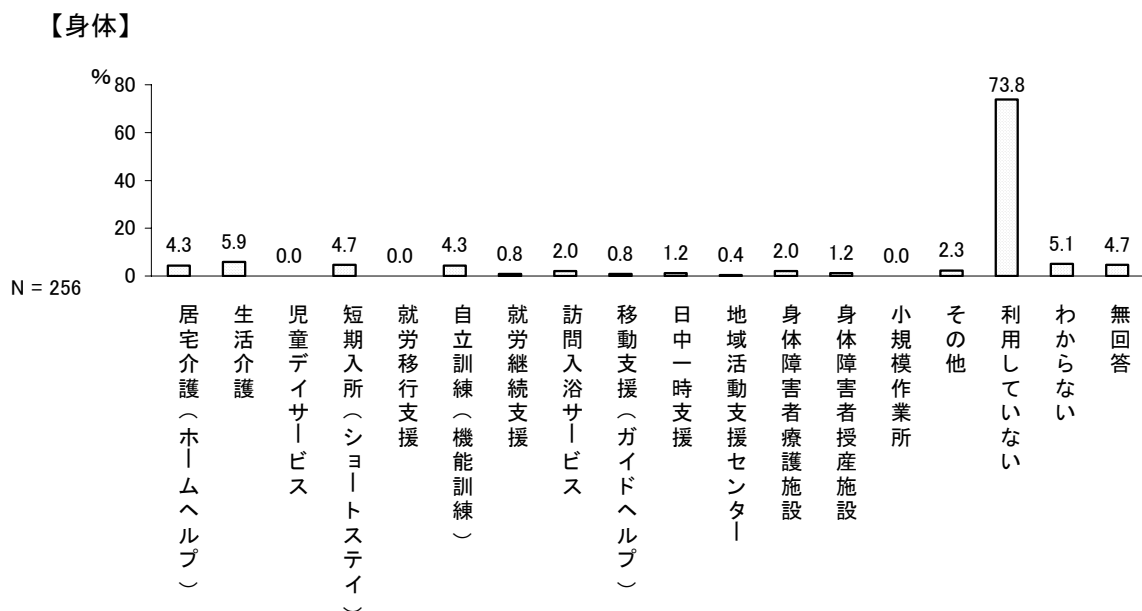
(3)福祉サービスについて

問 次の福祉サービスのうち、あなたが、現在利用しているサービスはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

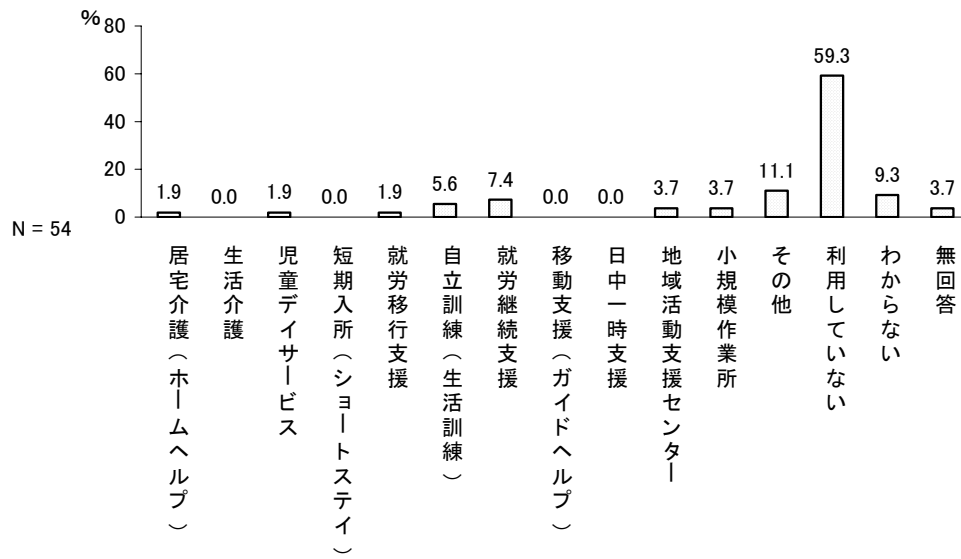
身体障がいのある人では、「利用していない」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「生活介護」の割合が 5.9%となっています。

知的障がいのある人では、「利用していない」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「小規模作業所」の割合が 16.1%、「自立訓練（生活訓練）」の割合が 6.8%となっています。

精神障がいのある人では、「利用していない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「就労継続支援」の割合が 7.4%となっています。



【精神】



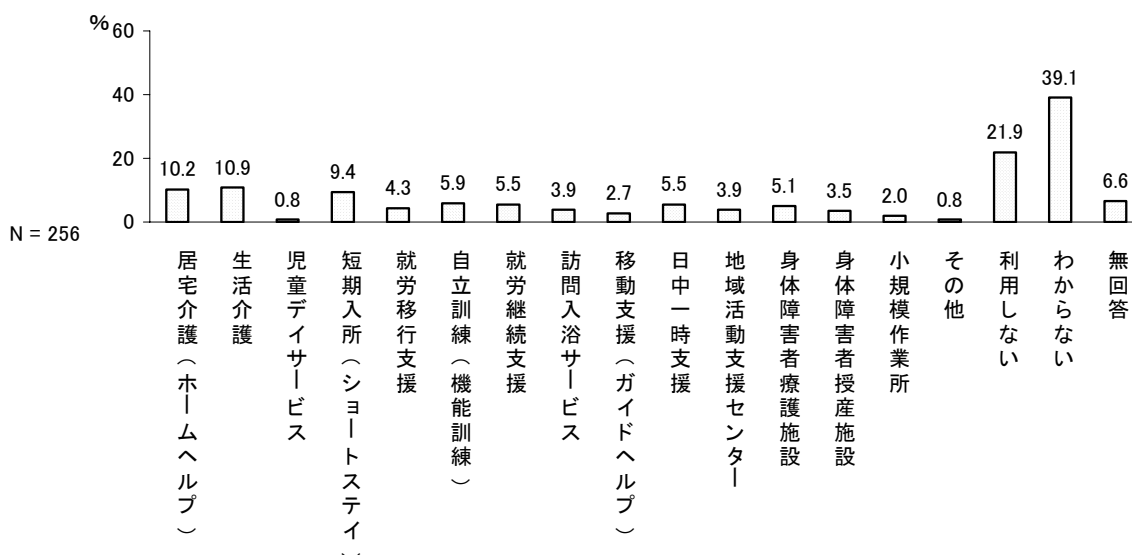
問 次の福祉サービスのうち、あなたが、利用を続けたい、または、今後利用したいサービスはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「わからない」「利用しない」を除くと「生活介護」の割合が10.9%と最も高く、次いで「居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が10.2%、「短期入所(ショートステイ)」の割合が9.4%となっています。

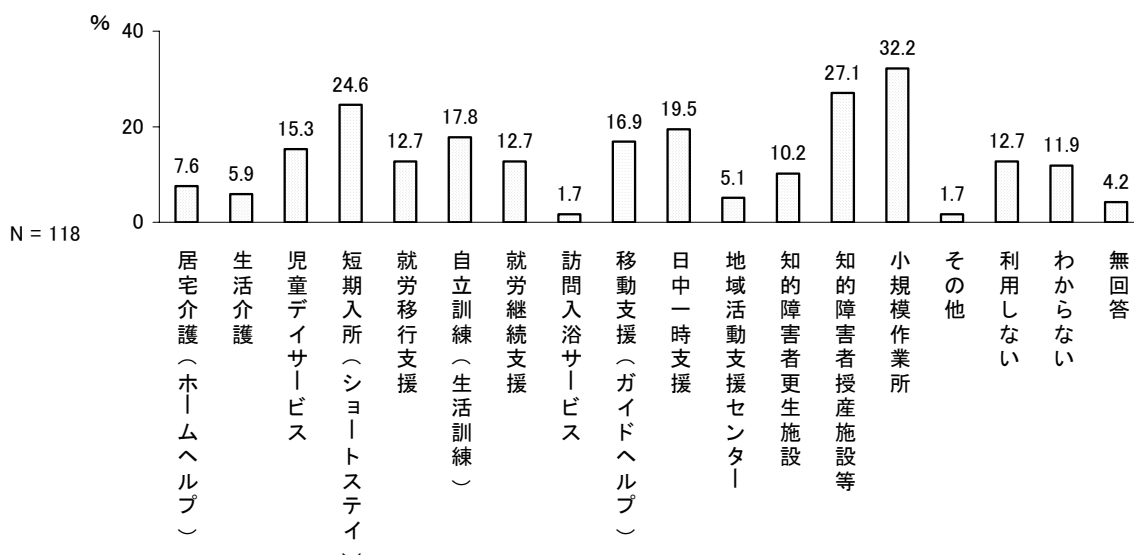
知的障がいのある人では、「小規模作業所」の割合が32.2%と最も高く、次いで「知的障害者授産施設等」の割合が27.1%、「短期入所(ショートステイ)」の割合が24.6%となっています。

精神障がいのある人では、「わからない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が16.7%、「就労継続支援」の割合が11.1%となっています。

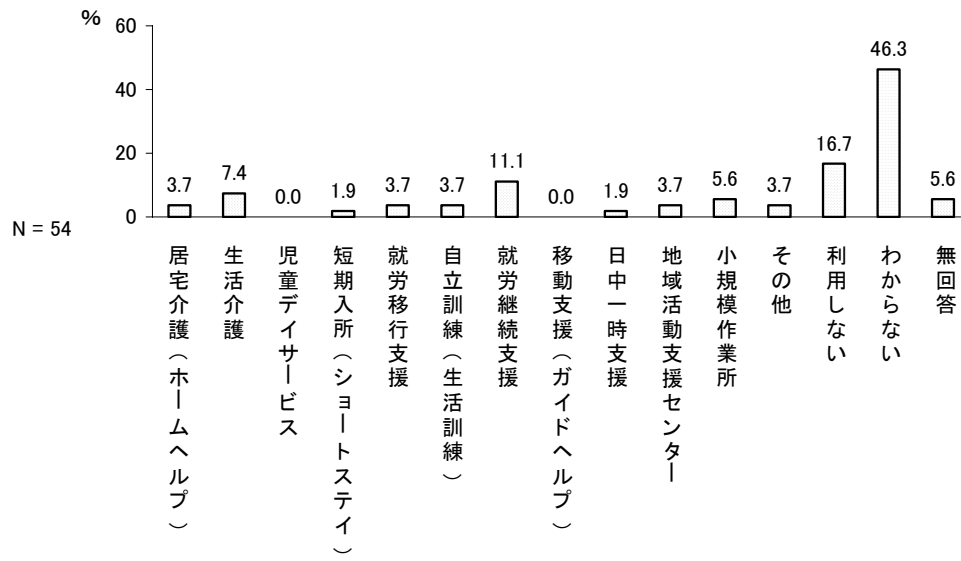
【身体】



【知的】



【精神】

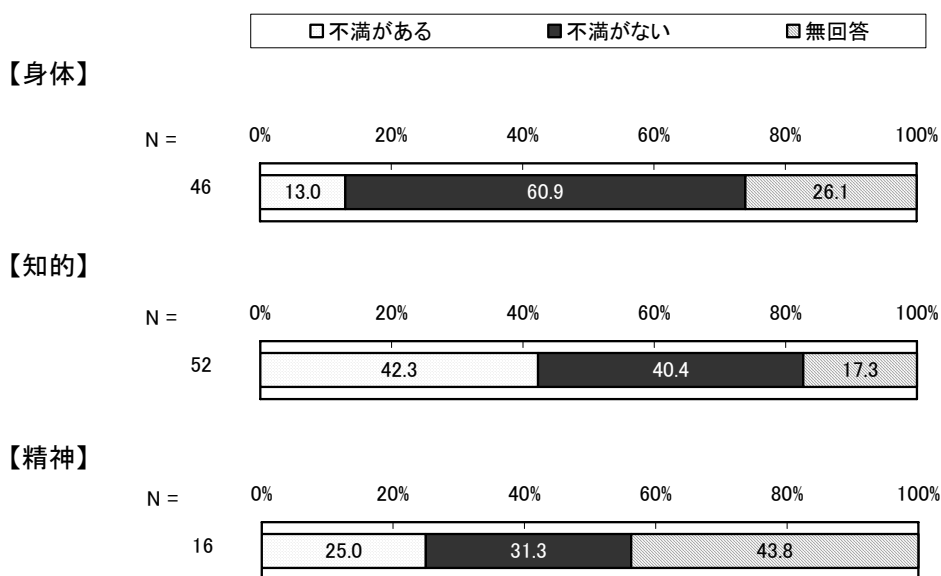


問 「1. 居宅介護(ホームヘルプ)」から「15. その他」までに○をつけられた方にお聞きします。あなたやご家族の方は、現在利用している福祉サービスについて不満がありますか。どちらかに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「不満がある」の割合が13.0%、「不満がない」の割合が60.9%となっています。

知的障がいのある人では、「不満がある」の割合が42.3%、「不満がない」の割合が40.4%となっています。

精神障がいのある人では、「不満がある」の割合が25.0%、「不満がない」の割合が31.3%となっています。



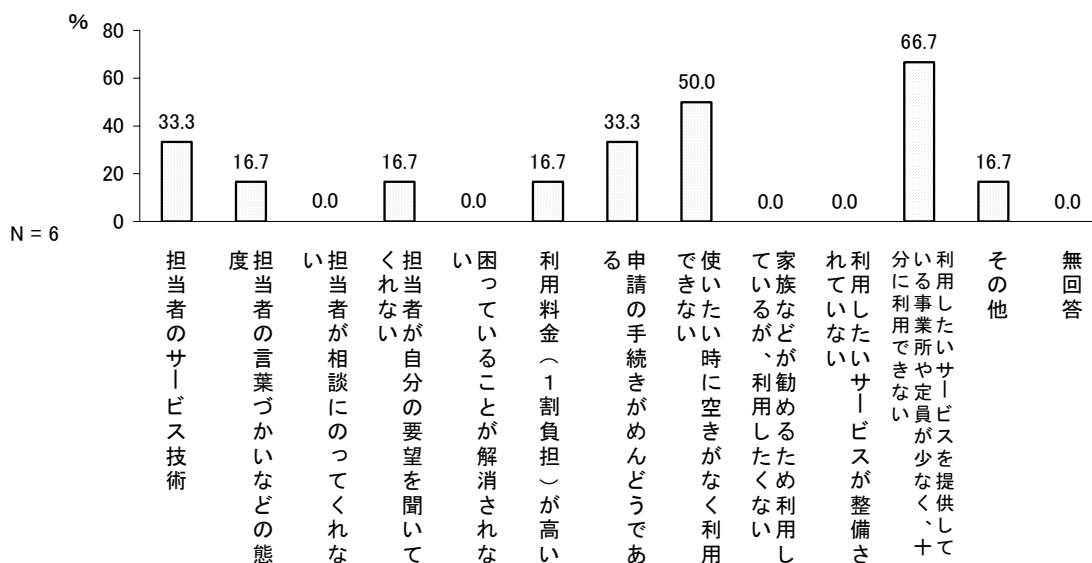
問 「1. 不満がある」と答えた方にお聞きします。
 どのような点に不満を感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、十分に利用できない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「使いたい時に空きがなく利用できない」の割合が50.0%となっています。

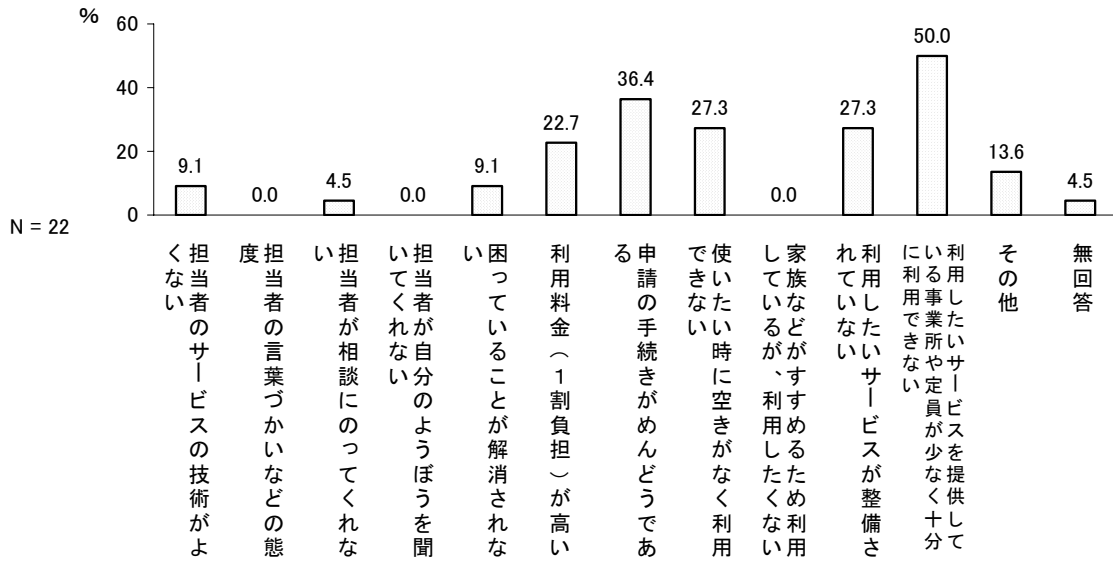
知的障がいのある人では、「利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく十分に利用できない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「申請の手続きがめんどろである」の割合が36.4%、「使いたい時に空きがなく利用できない」「利用したいサービスが整備されていない」の割合が27.3%となっています。

精神障がいのある人では、「困っていることが解消されない」「利用料金（1割負担）が高い」「使いたい時に空きがなく利用できない」「利用したいサービスが整備されていない」「利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、十分に利用できない」の割合が25.0%（1件）となっています。

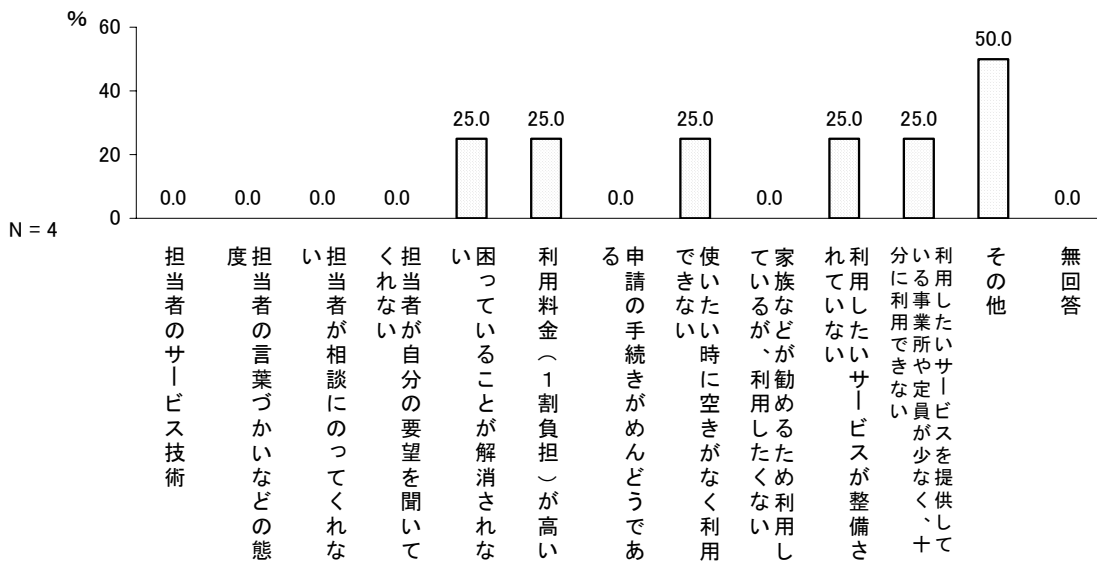
【身体】



【知的】



【精神】



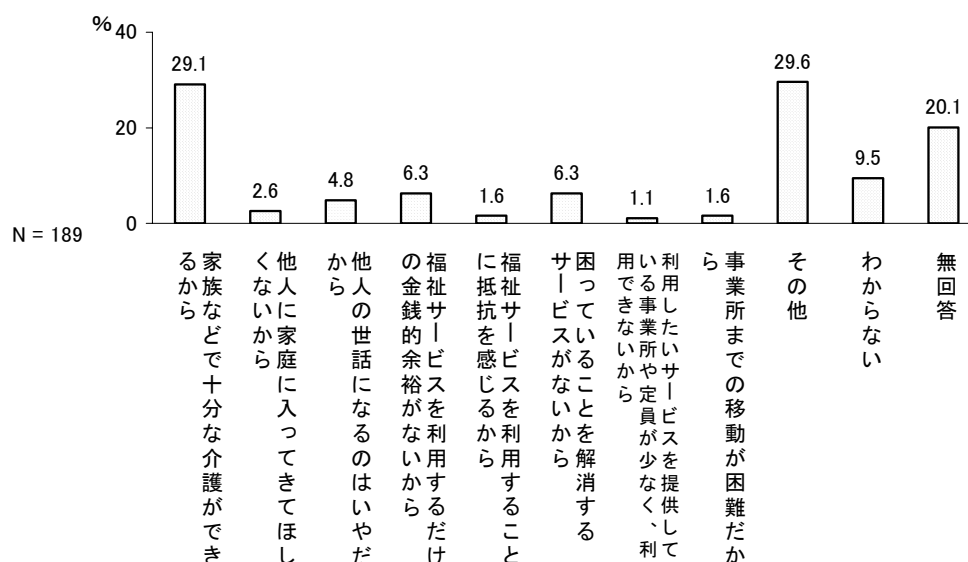
問 「16. 利用していない」と答えた方にお聞きします。
 現在、福祉サービスを利用していない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「その他」を除くと「家族などで十分な介護ができるから」の割合が29.1%と最も高くなっています。

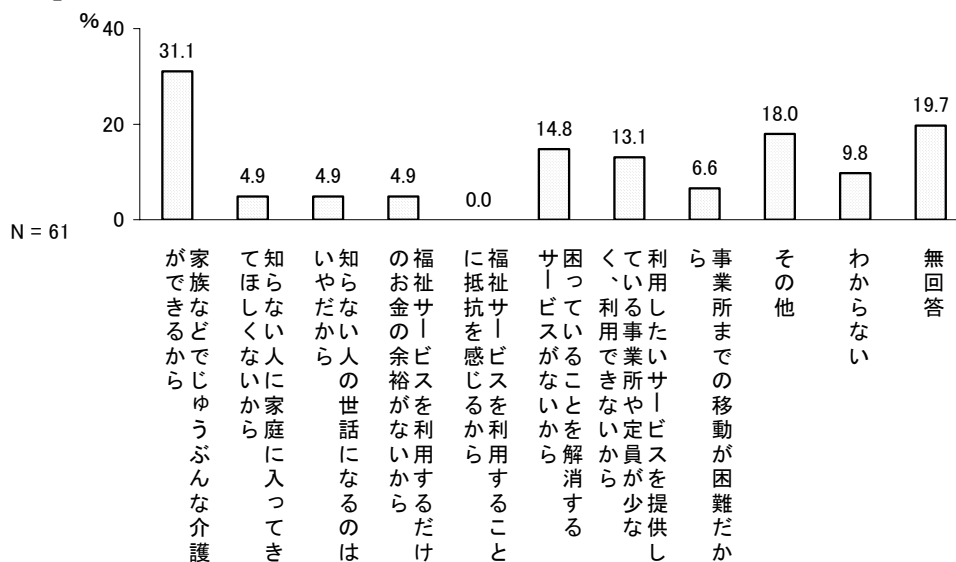
知的障がいのある人では、「家族などでじゅうぶんな介護ができるから」の割合が31.1%と最も高く、次いで「困っていることを解消するサービスがないから」の割合が14.8%、「利用したいサービスを提供している事業所や定員が少なく、利用できないから」の割合が13.1%となっています。

精神障がいのある人では、「家族などで十分な介護ができるから」の割合が18.8%と最も高く、次いで「福祉サービスを利用するだけの金銭的余裕がないから」の割合が15.6%、「他人に家庭に入ってきてほしくないから」の割合が12.5%となっています。

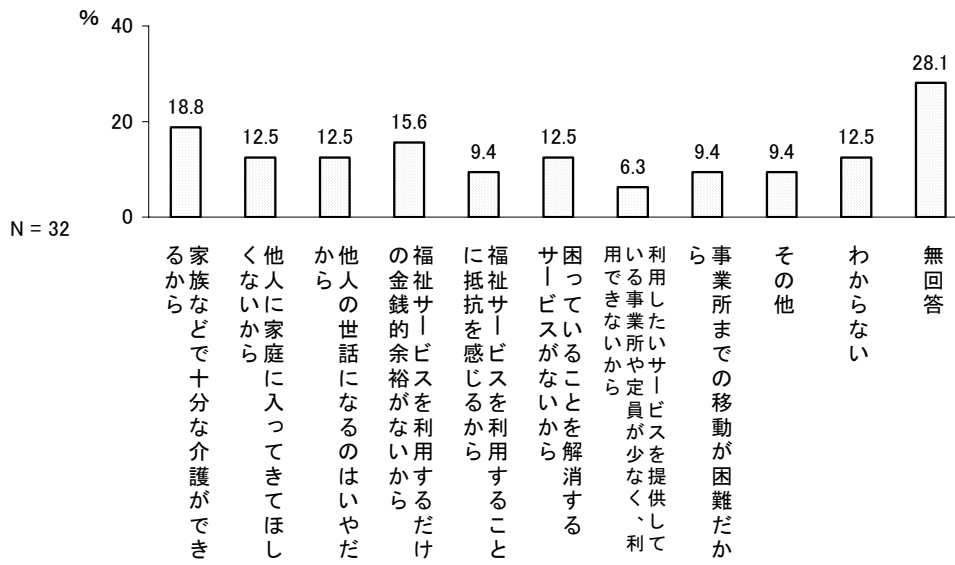
【身体】



【知的】



【精神】



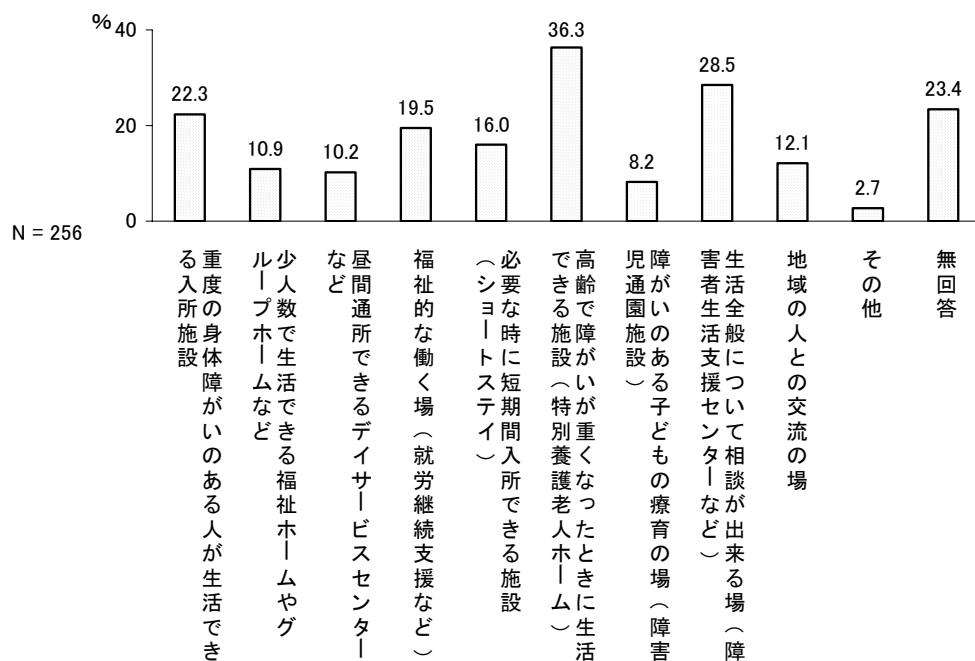
問 今後どのような施設があればいいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「生活全般について相談が出来る場（障害者生活支援センターなど）」の割合が 28.5%、「重度の身体障がいのある人が生活できる入所施設」の割合が 22.3%となっています。

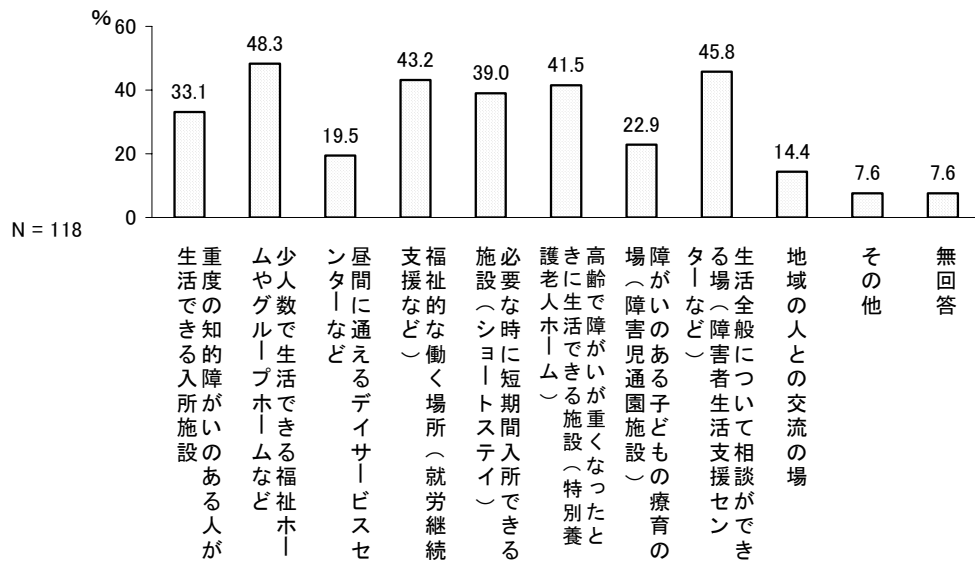
知的障がいのある人では、「少人数で生活できる福祉ホームやグループホームなど」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「生活全般について相談ができる場（障害者生活支援センターなど）」の割合が 45.8%、「福祉的な働く場所（就労継続支援など）」の割合が 43.2%となっています。

精神障がいのある人では、「高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「生活全般について相談が出来る場（障害者生活支援センターなど）」の割合が 37.0%、「福祉的な働く場（就労継続支援など）」の割合が 31.5%となっています。

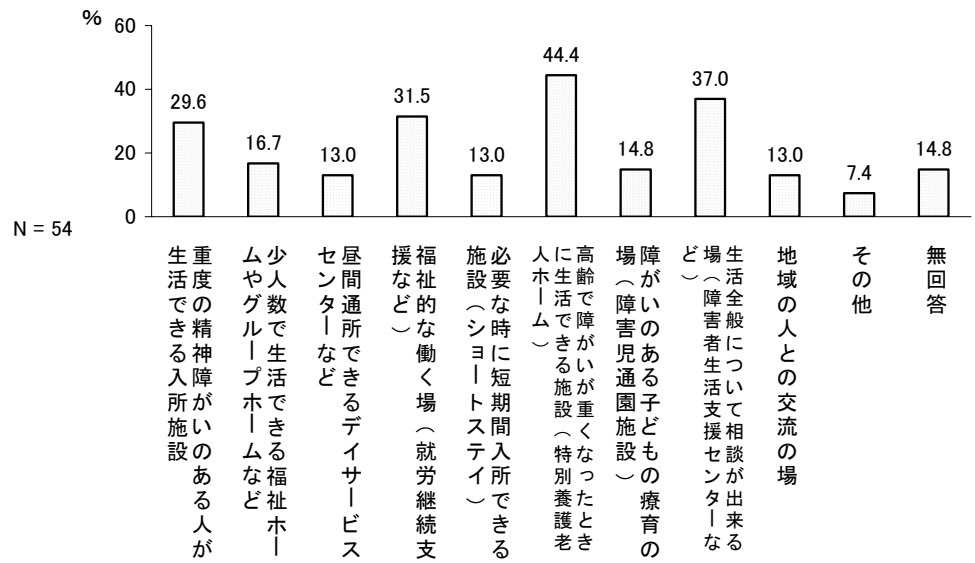
【身体】



【知的】



【精神】

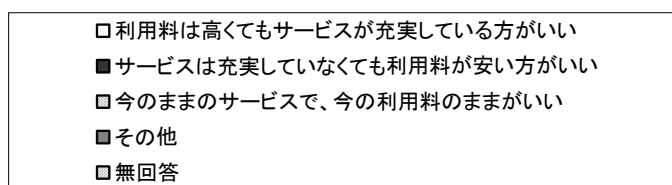


問 サービスの利用による利用者の負担についてどのようにお考えですか。あてはまるものの1つに○をつけてください。

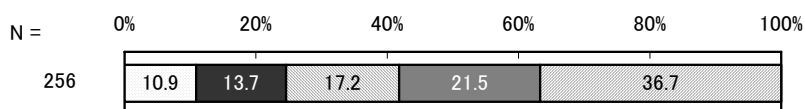
身体障がいのある人では、「今のままのサービスで、今の利用料のままだがよい」の割合が17.2%と最も高く、次いで「サービスは充実していても利用料が安い方がよい」の割合が13.7%、「利用料は高くてもサービスが充実している方がよい」の割合が10.9%となっています。

知的障がいのある人では、「今のままのサービスで、今の利用料のままだがよい」の割合が22.9%と最も高く、次いで「利用料は高くてもサービスが充実している方がよい」の割合が21.2%、「サービスは充実していても利用料が安い方がよい」の割合が6.8%となっています。

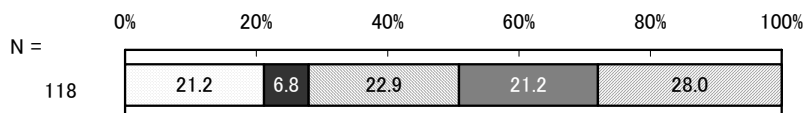
精神障がいのある人では、「今のままのサービスで、今の利用料のままだがよい」の割合が20.4%と最も高く、次いで「サービスは充実していても利用料が安い方がよい」の割合が18.5%、「利用料は高くてもサービスが充実している方がよい」の割合が11.1%となっています。



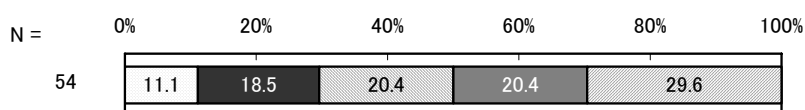
【身体】



【知的】



【精神】



(4)就労について

問 あなたの現在の就労の状況などについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

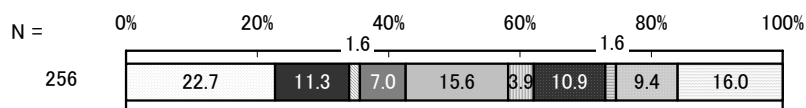
身体障がいのある人では、「会社で仕事をしている」の割合が22.7%と最も高く、次いで「自宅の家事をしている（主婦、家事の手伝い）」の割合が15.6%、「パート・アルバイトで短時間の仕事をしている」の割合が11.3%となっています。

知的障がいのある人では、「学生など」の割合が39.8%と最も高く、次いで「授産施設・作業所などに通っている」の割合が23.7%、「会社で仕事をしている」の割合が11.0%となっています。

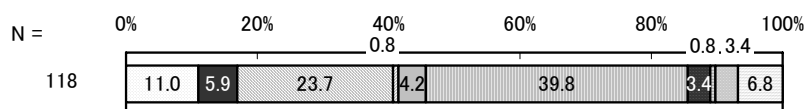
精神障がいのある人では、「自宅の家事をしている（主婦、家事の手伝い）」「働きたいが仕事が見つからない」の割合がともに14.8%と最も高く、次いで「授産施設・作業所などに通っている」の割合が11.1%となっています。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 会社で仕事をしている | <input type="checkbox"/> パート・アルバイトで短時間の仕事をしている |
| <input type="checkbox"/> 授産施設・作業所などに通っている | <input type="checkbox"/> 自営業(商店や家内工場など)で働いている |
| <input type="checkbox"/> 職業の訓練施設に通っている | <input type="checkbox"/> 自宅の家事をしている(主婦、家事の手伝い) |
| <input type="checkbox"/> 学生など | <input type="checkbox"/> 働きたいが仕事が見つからない |
| <input type="checkbox"/> 働きたくない | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 無回答 | |

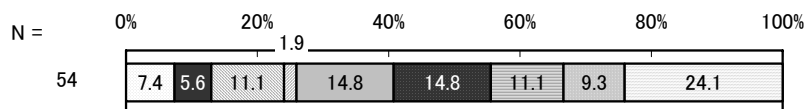
【身体】



【知的】



【精神】



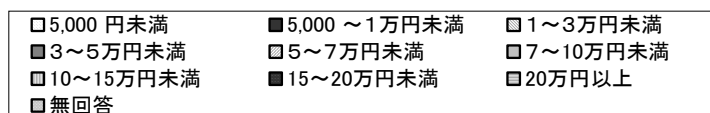
「1. 仕事をしている」から「4. 自営業（商店や家内工場など）で働いている」までに答えた方にお聞きします。

問 仕事や工賃による1か月の収入はどのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

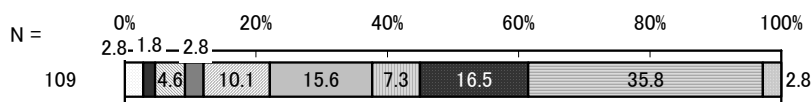
身体障がいのある人では、「20万円以上」の割合が35.8%と最も高く、次いで「15～20万円未満」の割合が16.5%、「7～10万円未満」の割合が15.6%となっています。

知的障がいのある人では、「5,000～1万円未満」の割合が29.2%と最も高く、次いで「7～10万円未満」の割合が20.8%、「5,000円未満」の割合が14.6%となっています。

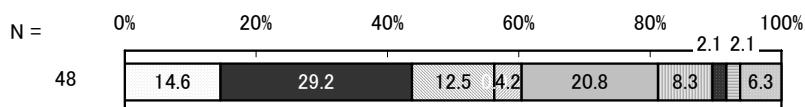
精神障がいのある人では、「1～3万円未満」の割合が38.5%と最も高く、次いで「5,000円未満」「10～15万円未満」の割合がともに15.4%となっています。



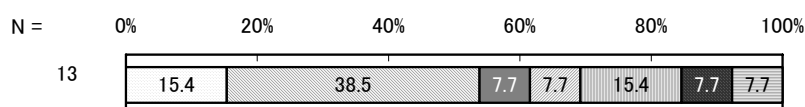
【身体】



【知的】



【精神】

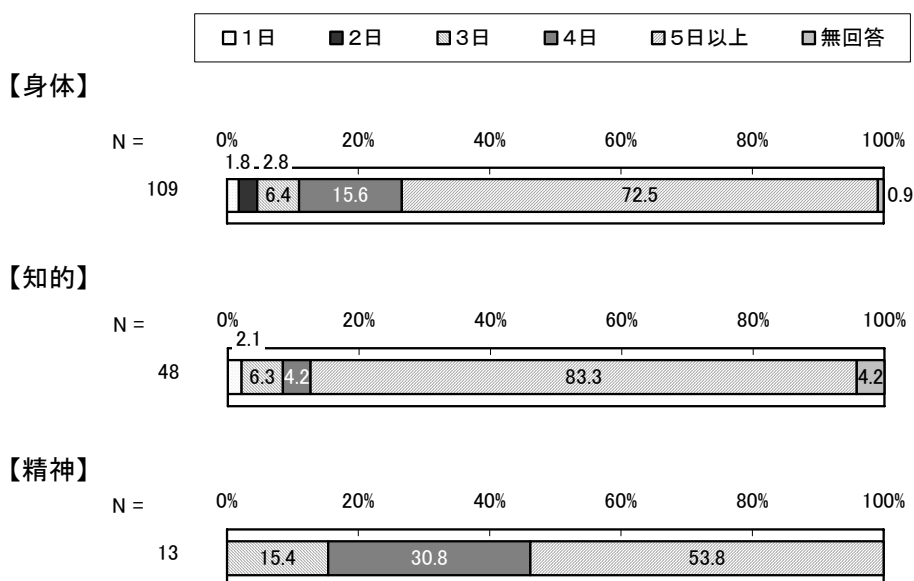


問 あなたは週に何日くらい働いていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がいのある人では、「5日以上」の割合が72.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.6%、「3日」の割合が6.4%となっています。

知的障がいのある人では、「5日以上」の割合が83.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が6.3%、「4日」の割合が4.2%となっています。

精神障がいのある人では、「5日以上」の割合が53.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が30.8%、「3日」の割合が15.4%となっています。



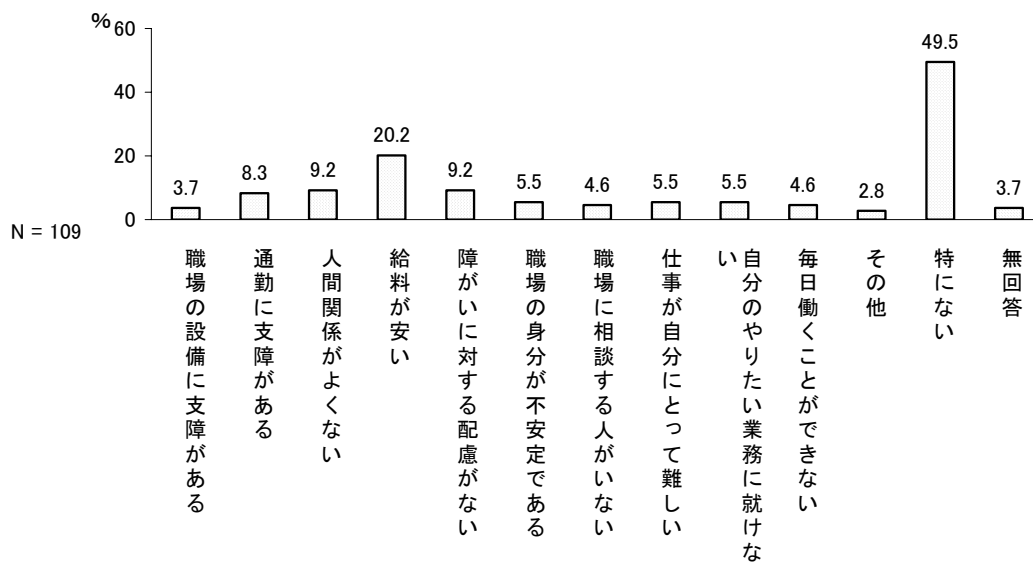
問 現在の仕事について不安や不満はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「特にない」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「給料が安い」の割合が 20.2%となっています。

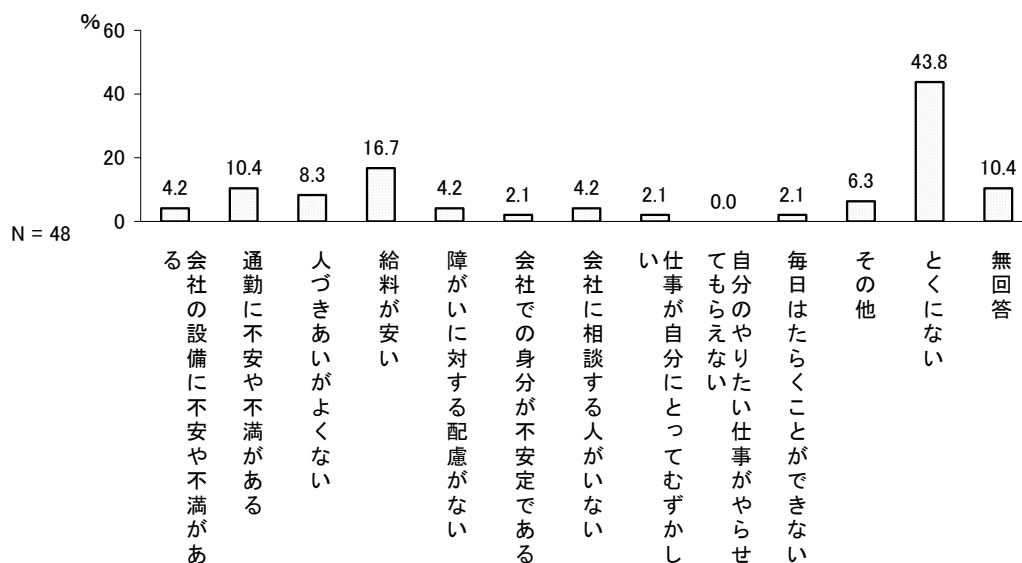
知的障がいのある人では、「とくにない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「給料が安い」の割合が 16.7%、「通勤に不安や不満がある」の割合が 10.4%となっています。

精神障がいのある人では、「特にない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「給料が安い」の割合が 38.5%、「通勤に支障がある」の割合が 30.8%となっています。

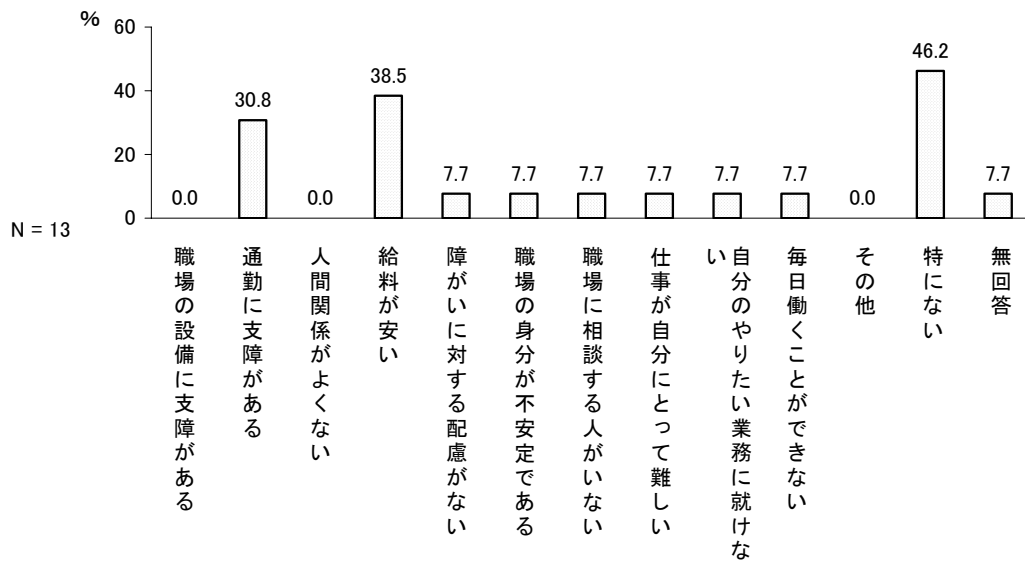
【身体】



【知的】

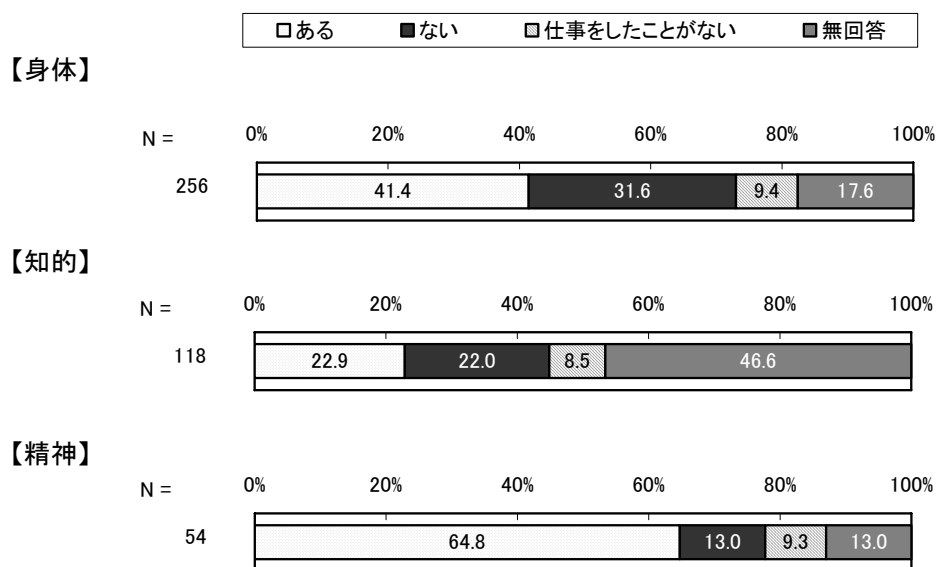


【精神】



問 あなたは、仕事をかえたり、辞めたりしたことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がいのある人では、「ある」の割合が41.4%、「ない」の割合が31.6%となっています。
 知的障がいのある人では、「ある」の割合が22.9%、「ない」の割合が22.0%となっています。
 精神障がいのある人では、「ある」の割合が64.8%、「ない」の割合が13.0%となっています。



「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 仕事をかえたり、辞めた主な理由はなんですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

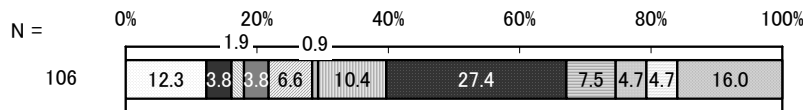
身体障がいのある人では、「病気のため」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「倒産やリストラのため」の割合が 12.3%、「賃金、労働時間が不満足」の割合が 10.4%となっています。

知的障がいのある人では、「会社がなくなったりリストラのため」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「人づきあいがうまくいかない」「病気のため」の割合がともに 14.8%となっています。

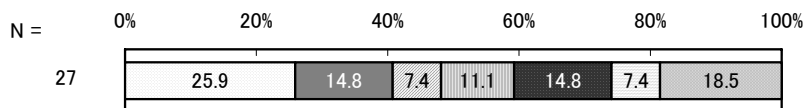
精神障がいのある人では、「病気のため」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「結婚・育児のため」の割合が 14.3%、「人間関係がうまくいかない」の割合が 11.4%となっています。

<input type="checkbox"/> 倒産やリストラのため	<input type="checkbox"/> 事業不振のため
<input type="checkbox"/> 能力が生かせないから	<input type="checkbox"/> 人間関係がうまくいかない
<input type="checkbox"/> 上司や同僚の障がいに対する理解が少ない	<input type="checkbox"/> 通勤が負担であったから
<input type="checkbox"/> 賃金、労働時間が不満足	<input type="checkbox"/> 病気のため
<input type="checkbox"/> 結婚・育児のため	<input type="checkbox"/> 定年のため
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 無回答

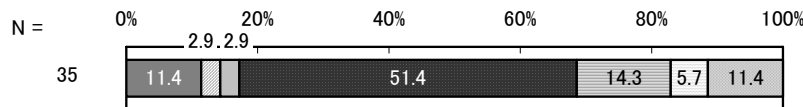
【身体】



【知的】



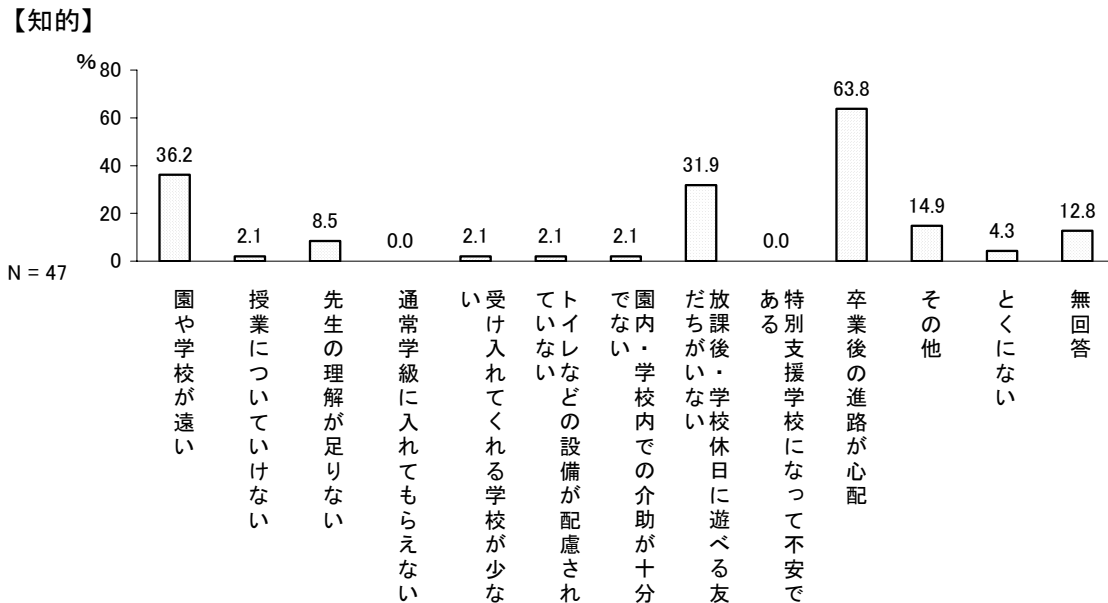
【精神】



「7. 学生など」に答えた方にお聞きします。

問 園や学校で困ることは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。(無理に3つを選ぶ必要はありません)

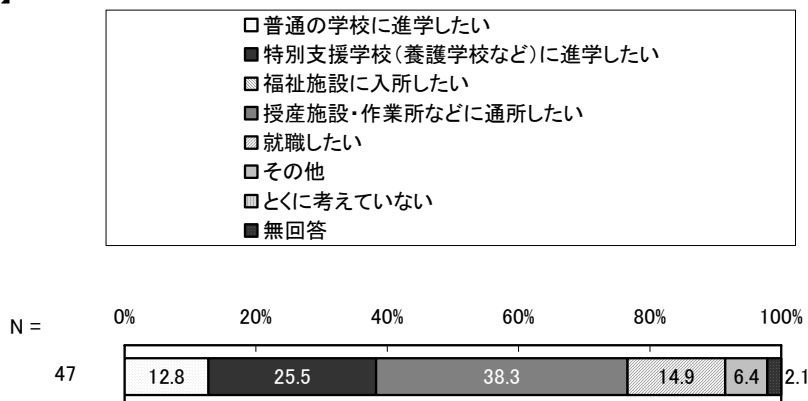
「卒業後の進路が心配」の割合が63.8%と最も高く、次いで「園や学校が遠い」の割合が36.2%、「放課後・学校休日に遊べる友だちがない」の割合が31.9%となっています。



問 卒園・卒業後についてどのようにお考えですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「授産施設・作業所などに通所したい」の割合が38.3%と最も高く、次いで「特別支援学校(養護学校など)に進学したい」の割合が25.5%、「就職したい」の割合が14.9%となっています。

【知的】



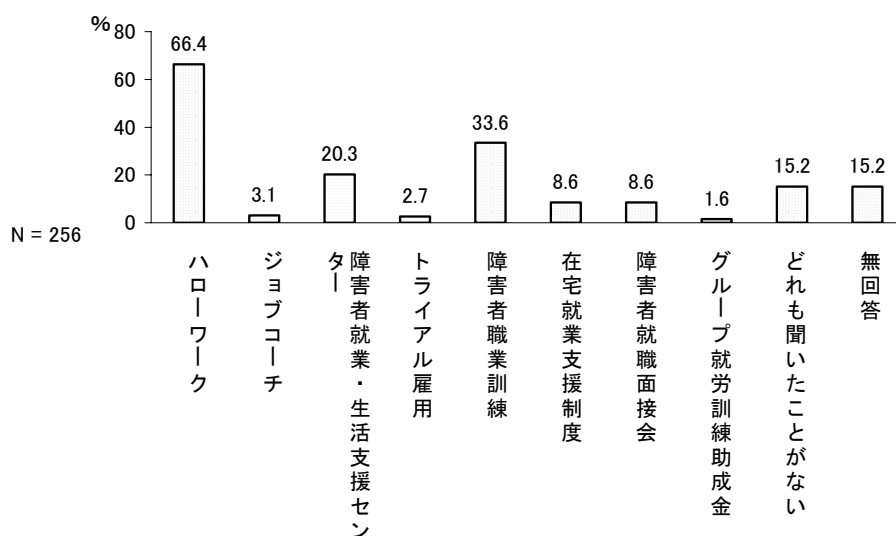
問 障がい者の就労支援のために、次のようなものがあります。この中で聞いたことがあるものすべて○をつけてください。

身体障がいのある人では、「ハローワーク」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「障害者職業訓練」の割合が 33.6%、「障害者就業・生活支援センター」の割合が 20.3%となっています。

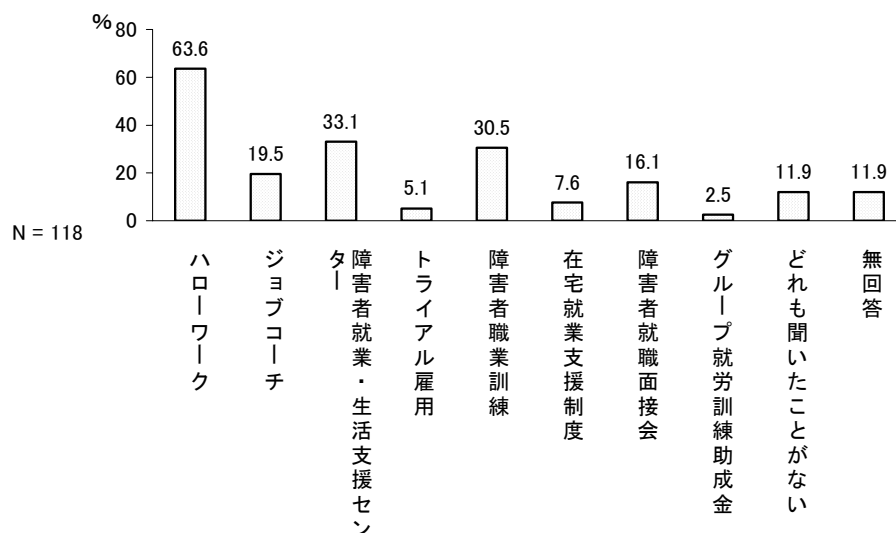
知的障がいのある人では、「ハローワーク」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「障害者就業・生活支援センター」の割合が 33.1%、「障害者職業訓練」の割合が 30.5%となっています。

精神障がいのある人では、「ハローワーク」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「障害者就業・生活支援センター」の割合が 27.8%、「障害者職業訓練」の割合が 24.1%となっています。

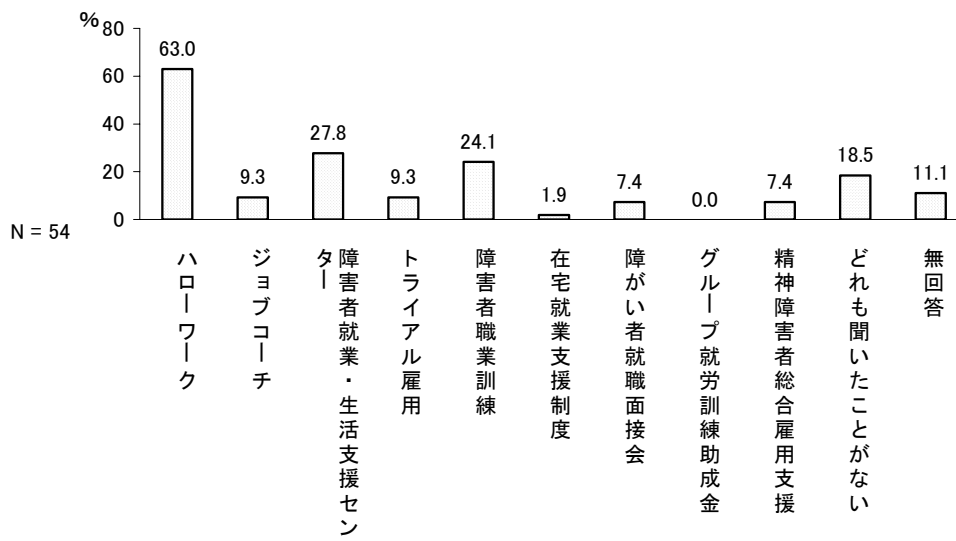
【身体】



【知的】



【精神】



(5)災害など緊急事態の対応について

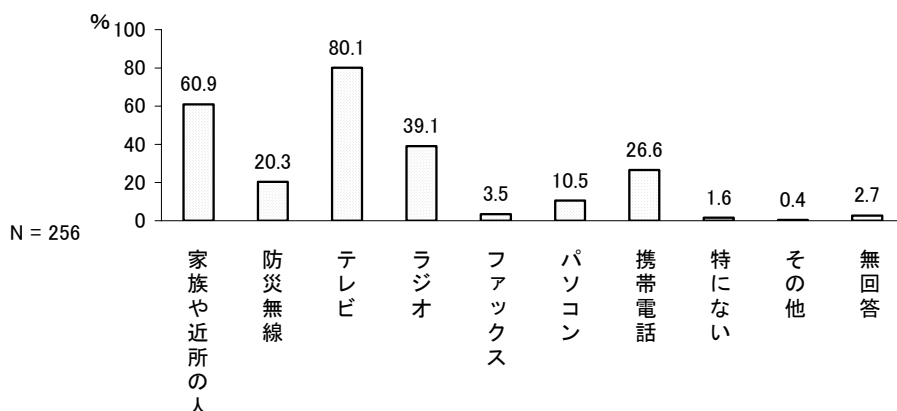
問 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたが、情報を得る手段は何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「テレビ」の割合が80.1%と最も高く、次いで「家族や近所の人」の割合が60.9%、「ラジオ」の割合が39.1%となっています。

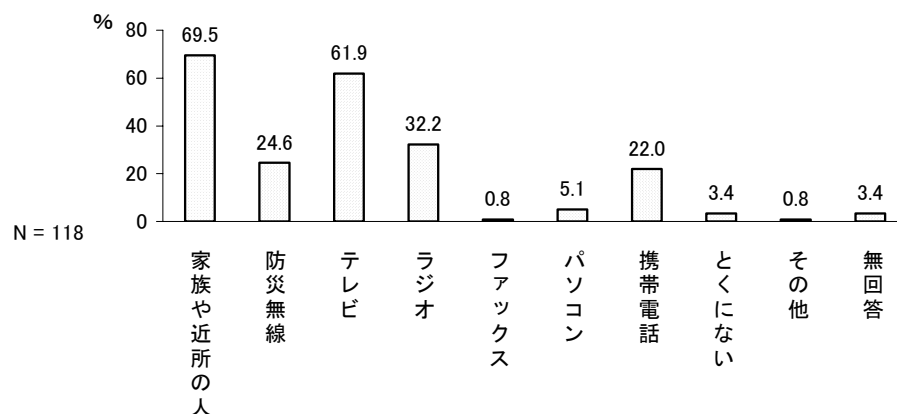
知的障がいのある人では、「家族や近所の人」の割合が69.5%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が61.9%、「ラジオ」の割合が32.2%となっています。

精神障がいのある人では、「テレビ」の割合が68.5%と最も高く、次いで「家族や近所の人」の割合が53.7%、「ラジオ」の割合が35.2%となっています。

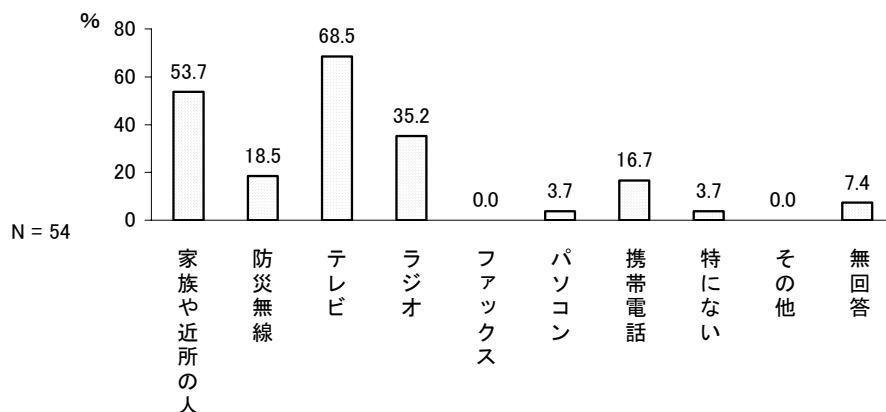
【身体】



【知的】



【精神】

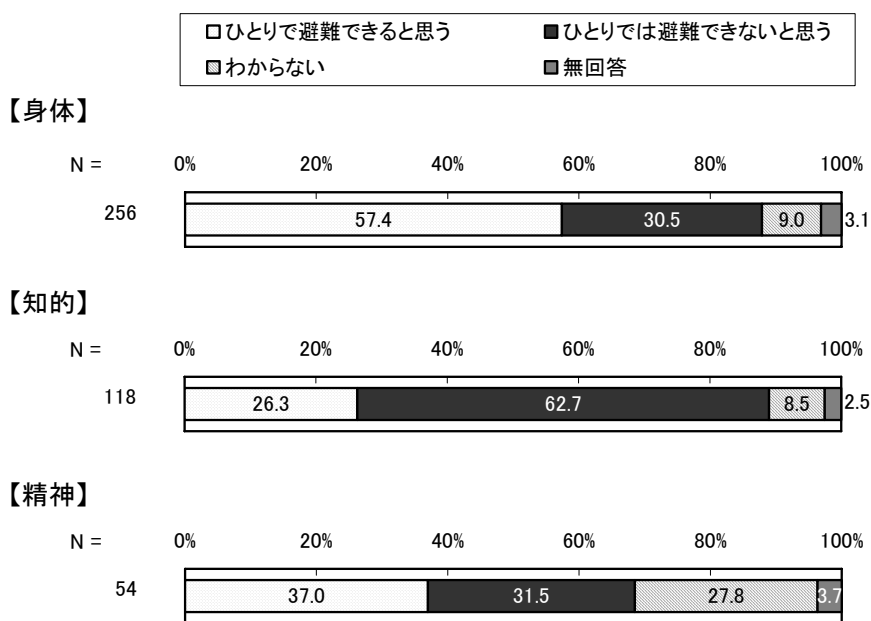


問 あなたは、災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がいのある人では、「ひとりで避難できると思う」の割合が57.4%、「ひとりでは避難できないと思う」の割合が30.5%となっています。

知的障がいのある人では、「ひとりで避難できると思う」の割合が26.3%、「ひとりでは避難できないと思う」の割合が62.7%となっています。

精神障がいのある人では、「ひとりで避難できると思う」の割合が37.0%、「ひとりでは避難できないと思う」の割合が31.5%となっています。



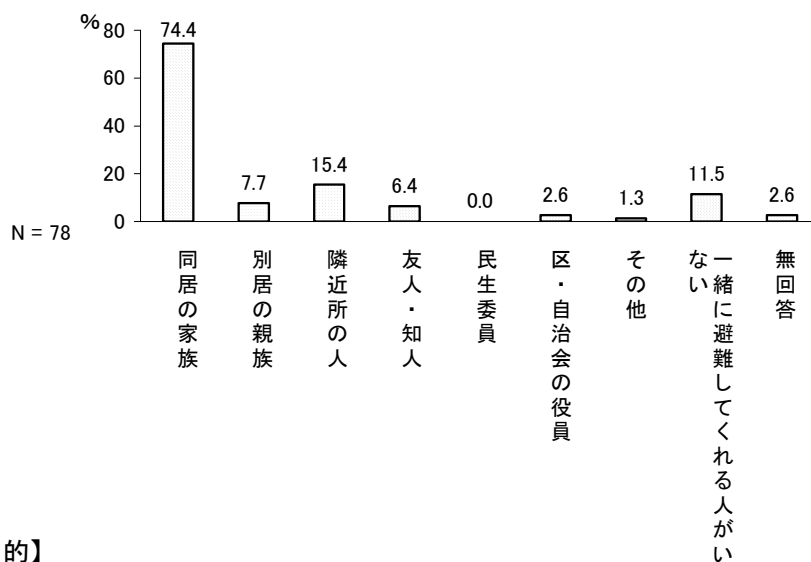
問 「2. ひとりでは避難できないと思う」と答えた方にお聞きします。どなたか一緒に避難場所まで避難してもらう人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「同居の家族」の割合が74.4%と最も高く、次いで「隣近所の人」の割合が15.4%、「一緒に避難してくれる人がいない」の割合が11.5%となっています。

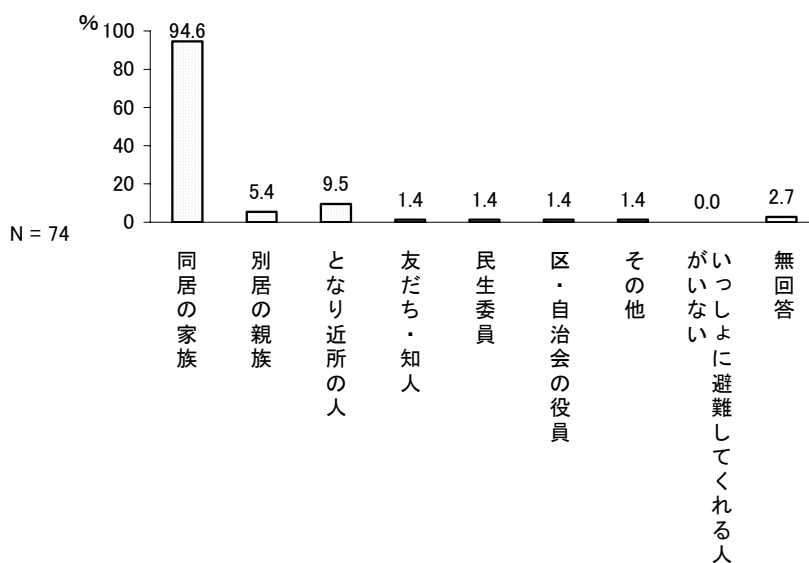
知的障がいのある人では、「同居の家族」の割合が94.6%と最も高く、次いで「となり近所の人」の割合が9.5%、「別居の親族」の割合が5.4%となっています。

精神障がいのある人では、「同居の家族」の割合が94.1%と最も高く、次いで「隣近所の人」の割合が11.8%、「別居の親族」の割合が5.9%となっています。

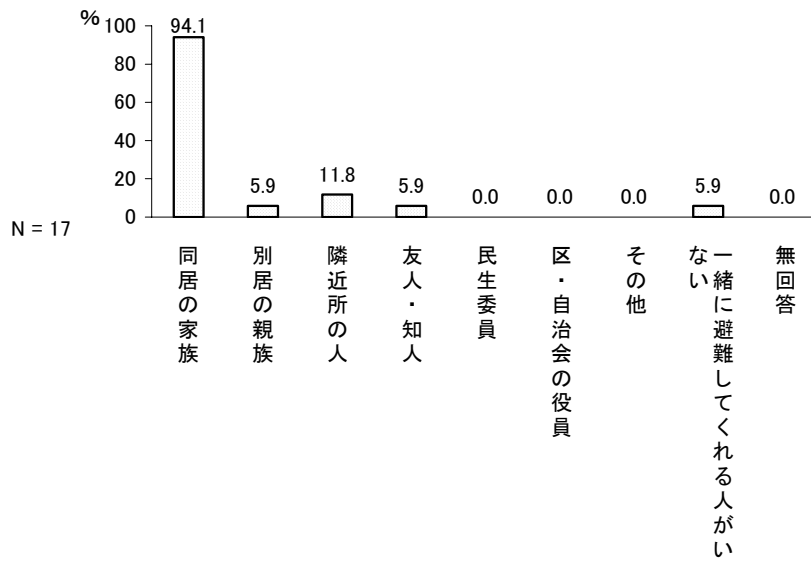
【身体】



【知的】



【精神】



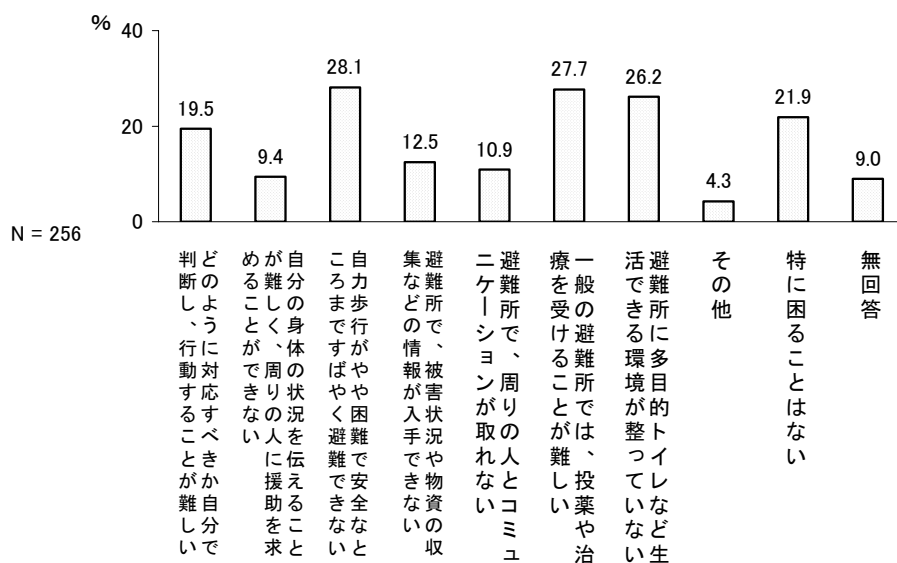
問 あなたが災害などの緊急事態に困ると思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身体障がいのある人では、「自力歩行がやや困難で安全なところまですばやく避難できない」の割合が28.1%と最も高く、次いで「一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい」の割合が27.7%、「避難所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない」の割合が26.2%となっています。

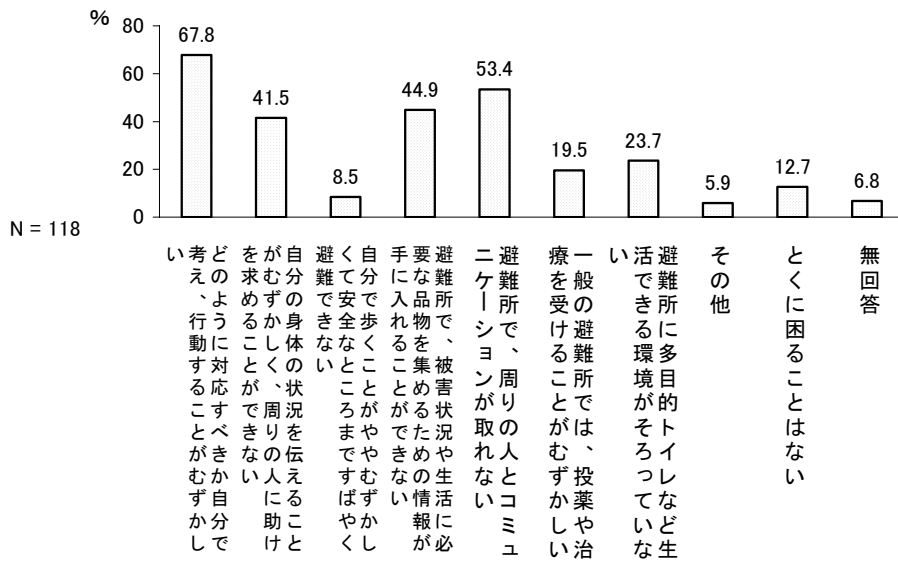
知的障がいのある人では、「どのように対応すべきか自分で考え、行動することがむずかしい」の割合が67.8%と最も高く、次いで「避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない」の割合が53.4%、「避難所で、被害状況や生活に必要な品物を集めるための情報が手に入ることができない」の割合が44.9%となっています。

精神障がいのある人では、「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」の割合が40.7%と最も高く、次いで「一般の避難所では、投薬や治療を受けることが難しい」の割合が38.9%、「避難所で、周りの人とコミュニケーションが取れない」の割合が22.2%となっています。

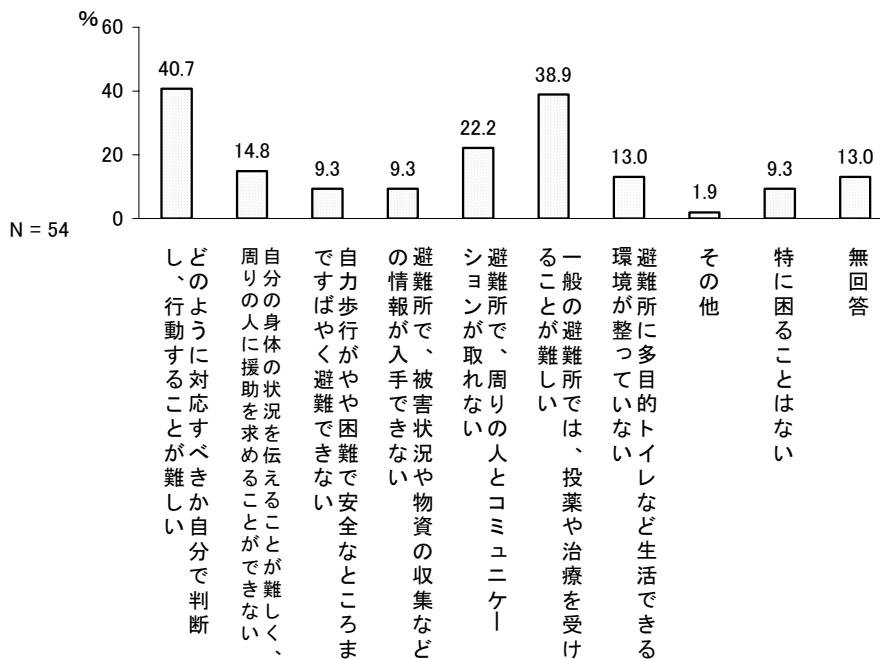
【身体】



【知的】



【精神】



問 災害時の避難などに援護が必要な障がい者に対して、その安否確認や避難の支援に使用するために必要な情報（移動支援の必要性、緊急連絡先など）を地域で共有することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

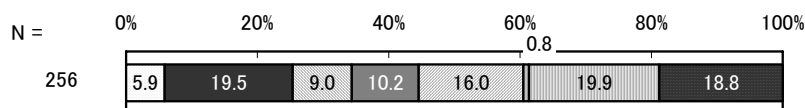
身体障がいのある人では、「わからない」を除くと「情報提供に本人の同意を得られる人だけの情報を自治会などに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう」の割合が19.5%と最も高く、次いで「障害を持っているという情報提供に同意を得られなかった人についても、緊急時には自治会などに情報を渡し、支援に役立ててほしい。」の割合が16.0%となっています。

知的障がいのある人では、「わからない」を除くと「情報提供してもいいという人だけ、情報を自治会などに渡し、災害時に必要な情報を知っておいてもらう」の割合が22.0%と最も高く、次いで「個人情報に誰にも教えないという覚書を結んだ上で、事前に自治会などに渡し、災害時に必要な情報を知っておいてもらう」の割合が12.7%となっています。

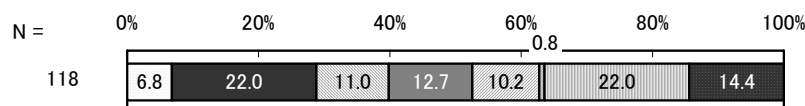
精神障がいのある人では、「わからない」を除くと「個人のプライバシーにかかわるため、自治会などには提供すべきではない（行政の支援のみに利用）」「法律上、個人情報の守秘義務が課せられている民生委員のみに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう」の割合がともに14.8%と最も高くなっています。

- 個人のプライバシーにかかわるため、自治会などには提供すべきではない（行政の支援のみに利用）
- 情報提供に本人の同意を得られる人だけの情報を自治会などに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう
- 法律上、個人情報の守秘義務が課せられている民生委員のみに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう
- 個人情報の守秘義務に関する覚書を結んだ上で、事前に自治会などに提供し、災害時に必要な情報を把握しておいてもらう
- 障害を持っているという情報提供に同意を得られなかった人についても、緊急時には自治会などに情報を渡し、支援に役立ててほしい
- その他
- わからない
- 無回答

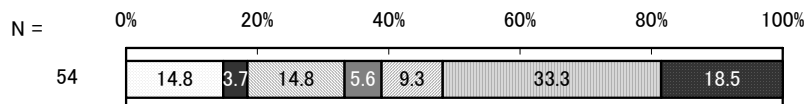
【身体】



【知的】



【精神】

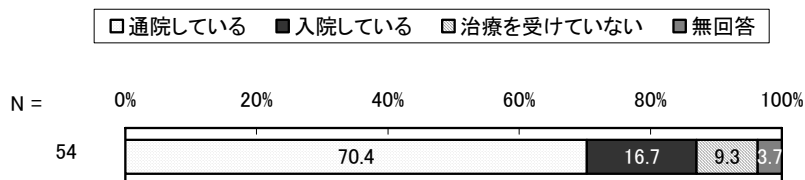


(6)医療や地域生活について

問 あなたは、現在、精神に関する治療を受けていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「通院している」の割合が70.4%、「入院している」の割合が16.7%となっています。

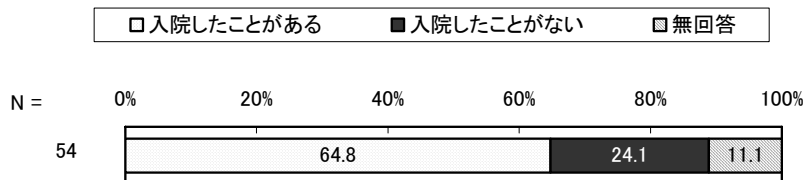
【精神】



問 あなたは、精神に関する障がいが入院したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「入院したことがある」の割合が64.8%、「入院したことがない」の割合が24.1%となっています。

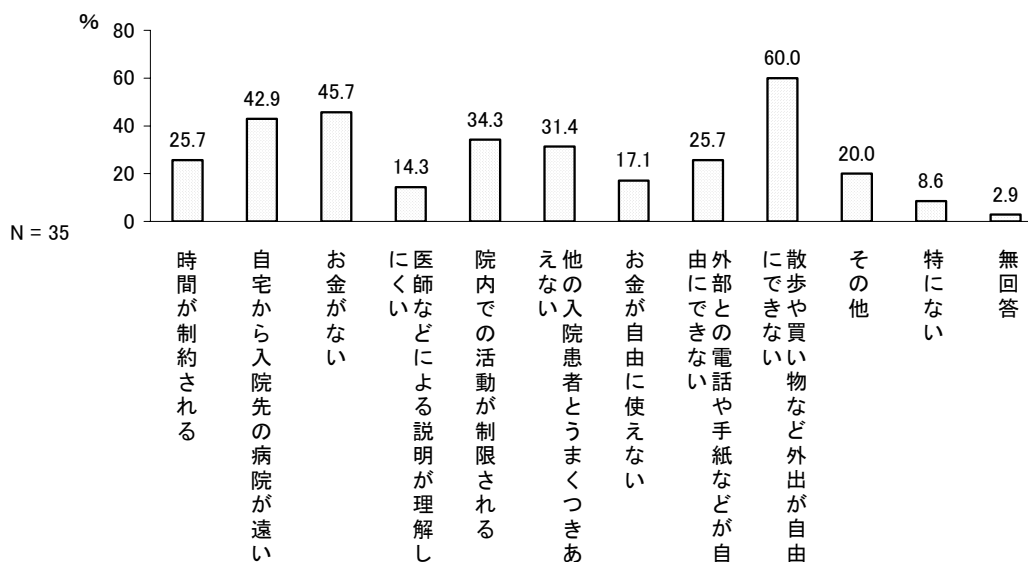
【精神】



問 「1. 入院したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたは、入院したときに何か困ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「散歩や買い物など外出が自由にできない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「お金がない」の割合が45.7%、「自宅から入院先の病院が遠い」の割合が42.9%となっています。

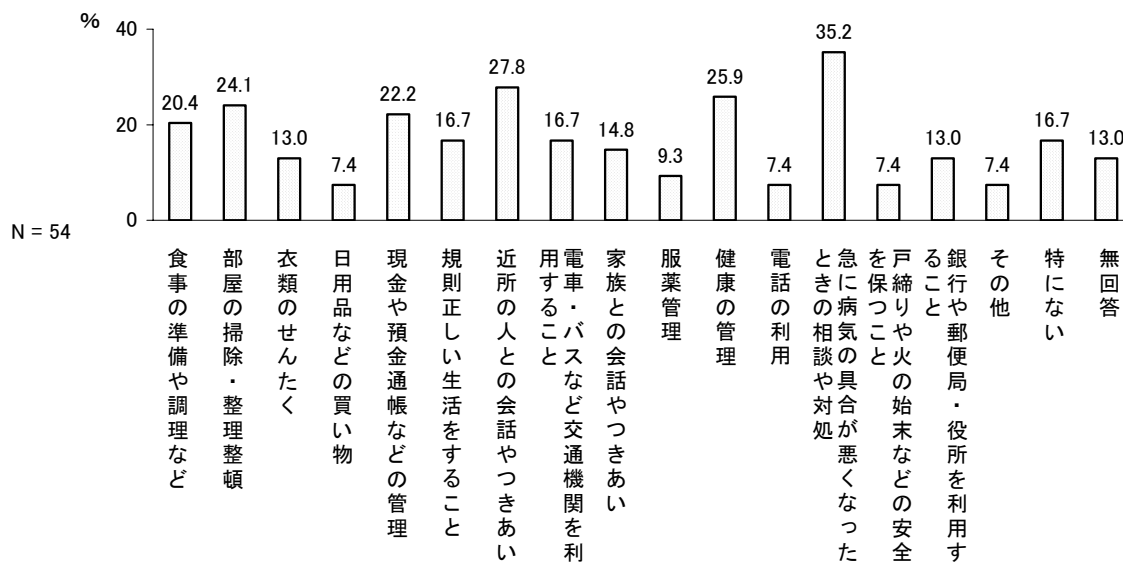
【精神】



問 あなたが現在、地域生活をしていく上で困ると思われることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「急に病気の具合が悪くなったときの相談や対処」の割合が35.2%と最も高く、次いで「近所の人との会話やつきあい」の割合が27.8%、「健康の管理」の割合が25.9%となっています。

【精神】



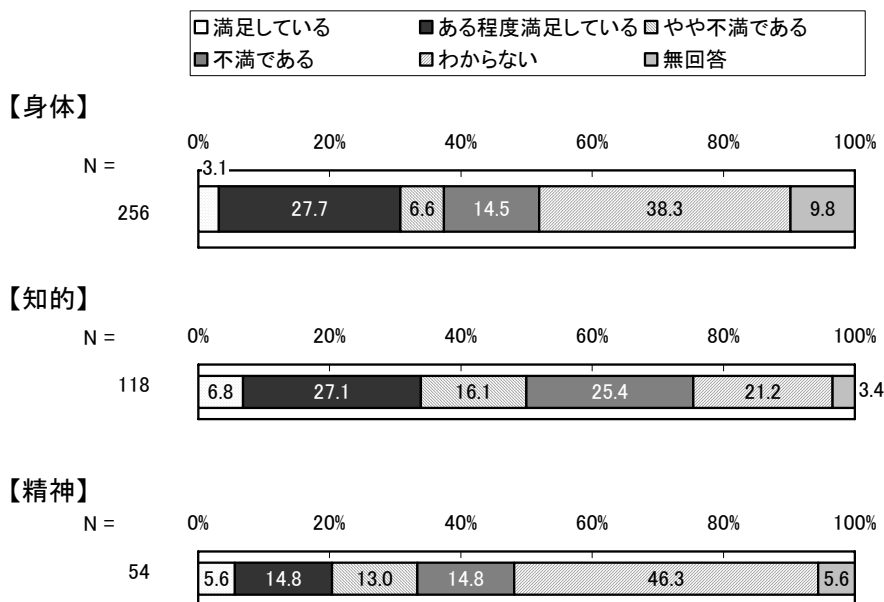
(7)障がい者施策について

問 あなたは、瑞穂市における福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がい者の施策について満足していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

身体障がいのある人では、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた満足している人の割合が30.8%、「やや不満である」「不満である」を合わせた不満を感じている人の割合が21.1%となっています。

知的障がいのある人では、満足している人の割合が33.9%、不満を感じている人の割合が41.5%となっています。

精神障がいのある人では、満足している人の割合が20.4%、不満を感じている人の割合が27.8%となっています。



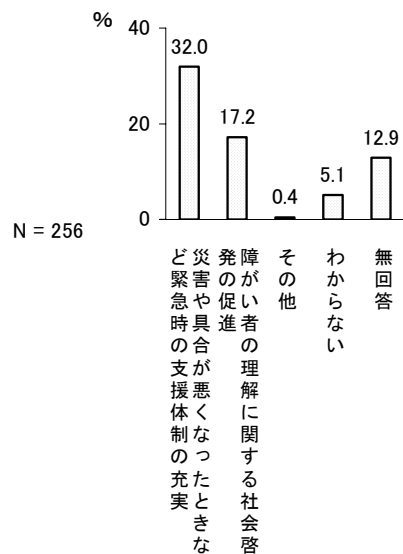
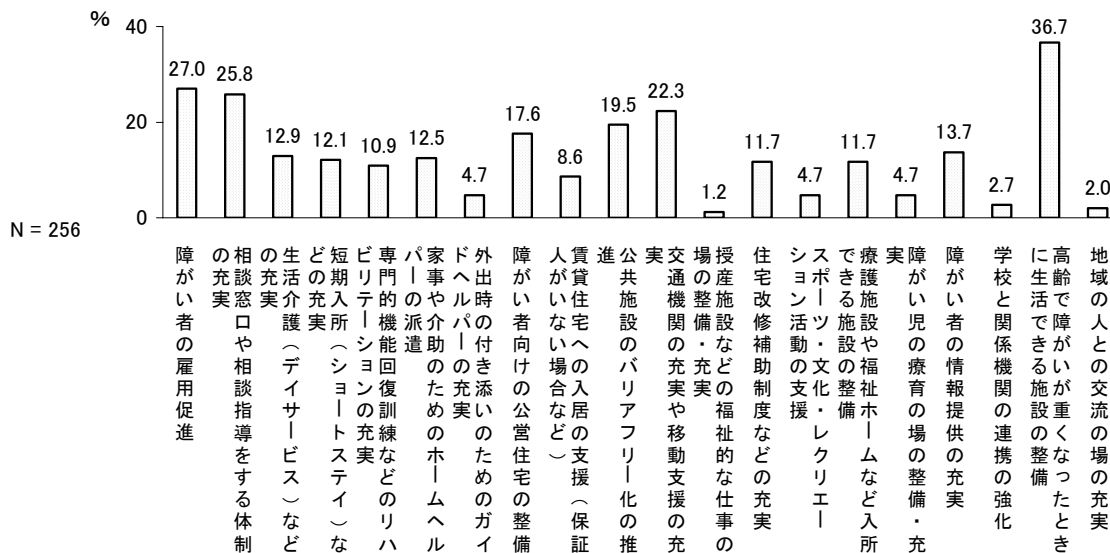
問 あなたが今後、特に充実すべきだと考える障がい者の施策について、あてはまるものに5つまで○をつけてください。(無理に5つを選ぶ必要はありません)

身体障がいのある人では、「高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設の整備」の割合が36.7%と最も高く、次いで「災害や具合が悪くなったときなど緊急時の支援体制の充実」の割合が32.0%、「障がい者の雇用促進」の割合が27.0%となっています。

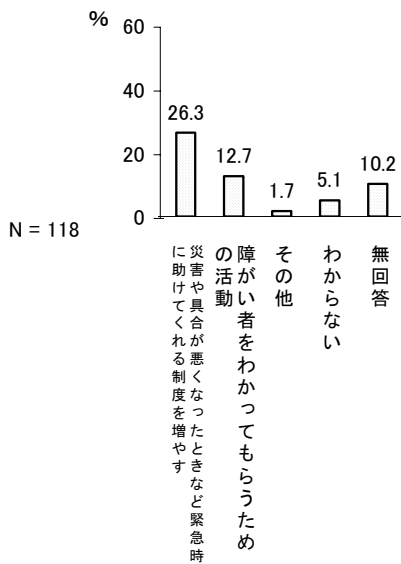
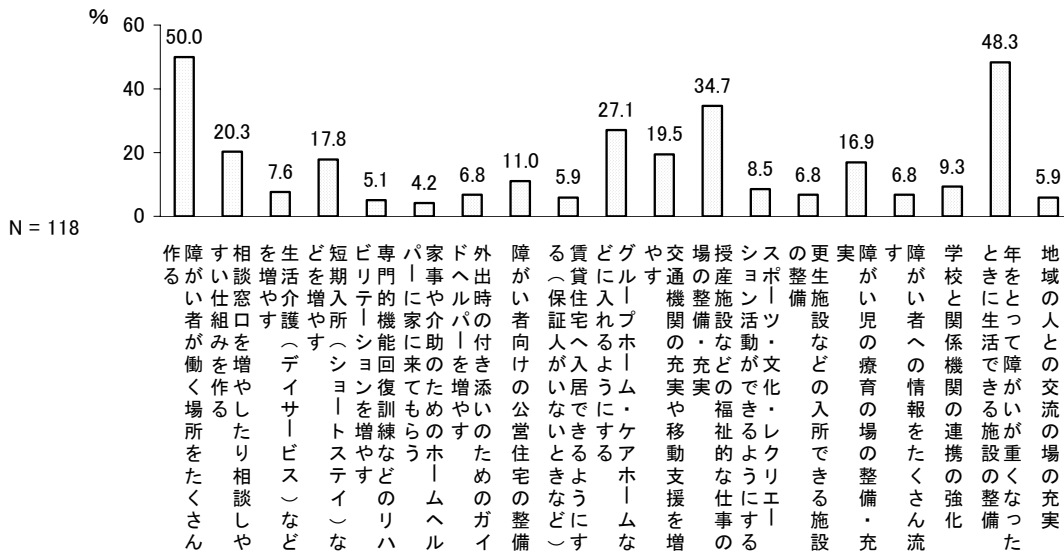
知的障がいのある人では、「障がい者が働く場所をたくさん作る」の割合が50.0%と最も高く、次いで「年をとって障がいが重くなったときに生活できる施設の整備」の割合が48.3%、「授産施設などの福祉的な仕事の場の整備・充実」の割合が34.7%となっています。

精神障がいのある人では、「障がい者の雇用促進」の割合が42.6%と最も高く、次いで「専門機関での医師や専門家による病気の治療やカウンセリングの充実」の割合が31.5%、「災害や具合が悪くなったときなど緊急時の支援体制の充実」の割合が29.6%となっています。

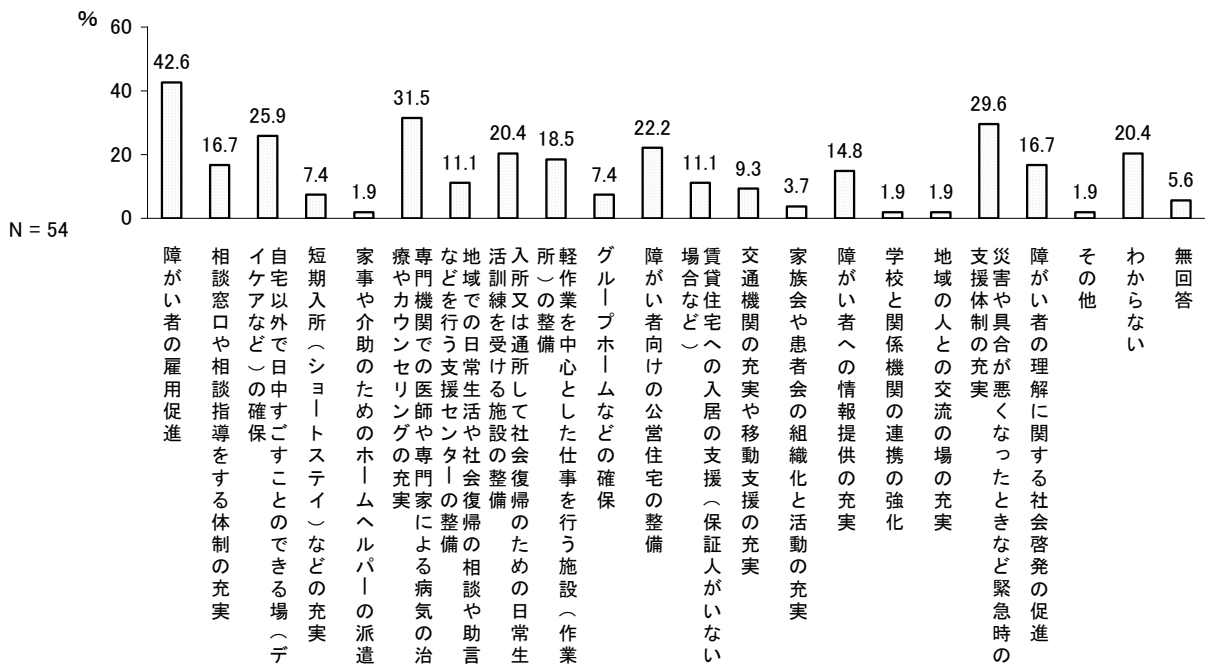
【身体】



【知的】



【精神】



問 「障害」の「害」の文字は、一般的によくない意味で使われますが、あなたは、「障害」に「害」の文字が使われることについてどう思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

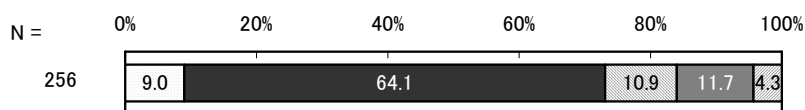
身体障がいのある人では、「気にならない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 11.7%、「ひらがなで「障がい」と表記するほうが、かえって障がいが増える気がする」の割合が 10.9%となっています。

知的障がいのある人では、「気にならない」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 25.4%、「害」という字は、悪いイメージがあると思うので、気にする」の割合が 19.5%となっています。

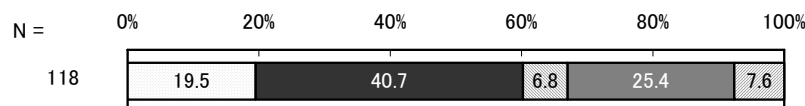
精神障がいのある人では、「気にならない」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 22.2%、「害」という字は、悪いイメージを与えると思うので、気にする」の割合が 18.5%となっています。

- 「害」という字は、悪いイメージを与えると思うので、気にする
- 気にならない
- ひらがなで「障がい」と表記するほうが、かえって障がいが増える気がする
- わからない
- 無回答

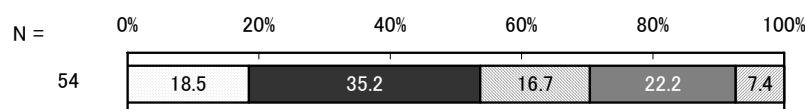
【身体】



【知的】



【精神】

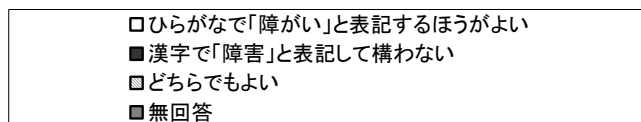


問 瑞穂市では、「障害者」の「害」の字が持つマイナスイメージを和らげるため、「障害者」を「障がい者」「障がいのある人」等と表記することを基本としています。このように市が「障がい」と表記することについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

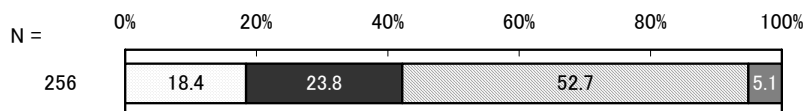
身体障がいのある人では、「どちらでもよい」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「漢字で「障害」と表記して構わない」の割合が 23.8%、「ひらがなで「障がい」と表記するほうがよい」の割合が 18.4%となっています。

知的障がいのある人では、「どちらでもよい」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「ひらがなで「障がい」と書くほうがよい」の割合が 35.6%、「漢字で「障害」と書いてもいい」の割合が 8.5%となっています。

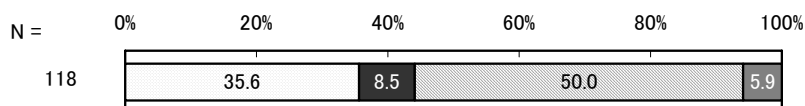
精神障がいのある人では、「どちらでもよい」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「ひらがなで「障がい」と表記するほうがよい」「漢字で「障害」と表記して構わない」の割合がともに 22.2%となっています。



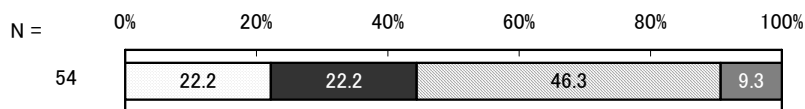
【身体】



【知的】



【精神】



3 自由意見

(1)保健・医療について

- ・高齢者、障がいの老人は現在医療で延命治療等で長命になっています。これで良いのか迷っています。(身体)
- ・総合病院を建てて欲しい。(身体)
- ・瑞穂市の対応に満足しています。機能訓練の(リハビリ)出来る施設を充実していただけたらと思います(充実=安心して利用出来る)(身体)
- ・専門の医療機関も混雑していて一人数分の時間での診療ができないと窓口で他の患者の前で大きな声で叱られるので他の地域に病院を変えた為、市での治療は受けられません。(精神)

(2)福祉サービス等について

- ・他の市町村より福祉・保健サービスが劣っているのではないのでしょうか。(身体)
- ・重度福祉医療費受給証で医療費を負担していただき大変感謝しています。申請の期間も8/13~8/17とお盆休み、日曜日を利用して役場へ出かける事が出来ます。年によっては土日と重なって、役場が休みにならない様、申請の期間を考慮していただきたいのです。平日は仕事でなかなか申請に行けませんので申請は家族の者でも受け付けてくださるようお願いいたします。新聞で報道されていましたが、瑞穂市は岐阜県内で財政健全度がトップレベルとありました。派手なイベントや施設を無理に作るより地道に老人保健施設の充実や障がい者の就職の支援にお金を使ってほしい。アンケートの結果は市のHPで発表してほしい。(身体)
- ・視覚障がい者の希望 ①市内に障がい者支援センターを設立してほしい(NPOでもよい) ②視覚障がい者用の図書の充実を図ってほしい ③歩道の段差や交差点の信号を盲人用の信号にしてほしい。(身体)
- ・瑞穂市に移転して3年になるが、以前いた大垣では年に7000~8000円の補助金があったが瑞穂市ではない。なぜ市町村によって差があるのか理解できない。1.市職員の対応は大変親切で良いと思います。2.仕事も手早く良い。(身体)
- ・公共料金(水道など)の援助。大垣市の福祉サービスに比べて全ての面で援助されていない。(身体)
- ・現在、重度身障者医療助成を受けていません。瑞穂市から何の受給もない。他の県よりも岐阜県内でも瑞穂市の福祉は不十分である気がします。タクシー券の配布を希望します。民生委員さんと一度TELで話した事があります。年に一度程度でもいいので、お会いできるような場があれば……。町内の仕事(会長などの役)、町内掃除の際、主人が出来ない為負担がかかる。町内会のあり方、参加の仕方に疑問を抱く時もあります。(身体)
- ・障がい者ほどプライベートが気になり、マイカーを利用する。ガソリン高騰の中、税金等の優遇があってほしい。(身体)
- ・瑞穂市の介護施設がとても少ないと思います。私は母を2年前に亡くしましたが98才でした。施設がいっぱいで申込んでも3年4年と待たなければなりません。時には5年先と言われました。やむなく我が家で最後を看取りました。大変でした。(身体)
- ・アンケート遅れましてごめんなさい。親が体調悪く静岡に帰っていましたが、大学が始まるため帰省してきました。もし親が交通事故や病気になった時一人では生活できません。一事時にめんどろを見ていただく場所がありましたらお知らせください。(身体)
- ・障がい者が結婚、出産したら応援としてお祝い金が欲しいです。育児中も大変なのでフォローして欲しいです。字幕付きのテレビ番組をもっと増やして欲しい。災害の時はメール(携帯)で知らせて欲しい。障がい者はどんなサービスが受けられるのか全部知らない人の為に本を配って欲しい。(身体)
- ・現在入浴は月に2回を週2回にしてほしい。お願い致します。(身体)

- ・現在民間のアパートにいますが、今後又今現在生活が苦しく、1人でも県・市の住宅に入ると良いと思います。このようになる事をお願い致します。(身体)
- ・私は聴覚だけでなく平衡機能障がい、めまいもあり、1人で買い物に行くのも不安、車の走っている道路を通るのも怖くて平日は家の中ばかりで過ごしています。主人も亡くなり先々の生活も遺族年金だけでは不安です。医療費は無料でも、保険料を払ったり、税金を払ったりしていたら生活は苦しいです。福祉サービスは利用した事が無いので、何もわかりません。(身体)
- ・私は車にも乗れないし、タクシー券の対象にもなりません。中途半端な障がいはどうしたら。(身体)
- ・下肢に障がいがあるが、現在の職場からは交通費の補助がない。瑞穂市も一部の市で行われているガソリン代の補助等といった政策を行っていただけると大変ありがたい。当アンケートの結果を、広報もしくはホームページ等で公開してほしい。(身体)
- ・福祉での障がい手続を終えた後、サービスの本をもらって、自分に合ったサービスをさがすのですが、「〇級には何々のサービスが受けれますよ」などの案内がほしいです。何となく事務的対応はさびしいです。障がい者だって心を持っているのですから、親切にとは言いませんが言葉で詳しく教えていただきたいです。(身体)
- ・福祉施設が少なすぎて入れない人がいるという話を聞いた事があります。もっと施設を増やしてほしい。だからと言ってお金が高い施設は入れないと思います。(身体)
- ・健常児にとってはとても住みやすい市になったと思います。でも障がい者にとっても住みにくい市です。見た目の字「害」を「がい」でなくて中身をもっと考えてほしい。毎年アンケートをとってるが、何か障がい者の意見を聞いてますか。はっきり言って何も変わってない。瑞穂市には児童短期入所がなく、他の市に行かないといけない。預けたい時に預けられない。仕事がしたくても夏休みなどは働けない。健常児は将来は独立して働けます。でも障がい者は働けません。だから将来の為にも今働きたいのです。何に健常児には学童があり、毎日働けます。障がい児の母親は働けません。同じ瑞穂市民、平等にしてほしい。毎年アンケートとっても変わらないなら意味ない。(知的)
- ・我が家には知的に遅れのある自閉症児と知的には問題のない高機能自閉症の子供がいます。知的に遅れのある子は療育手帳も出て、それなりのケアをしてもらっています。でも高機能の子供には手帳も交付されず、健常児としての扱いになっていますが問題が多く困っています。ケアも思うように受けられません。ご理解の程よろしくお願いします(発達障がい者への理解・ケア)。地域で育ち生活していきたい(してもらいたい)と思っています。作業所など定員があり、子供たちが安心して生活出来る場が少なく思います。将来子供たちが生き生きとできる場所をつくっていただけたらと思います。岐阜本巣特別支援学校の先生はとても理解があります。地元の先生はまだまだこれからかなと(発達障がい者への理解。特に通常学級)思います。学校全体(保護者も)で理解してもらえたらと思います。よろしくお願いします。(知的)
- ・市には今2ヶ所の作業所がありますが、児童・生徒の数からすると足りません。(もう一ヶ所出来るとの事です)仕方なく市外の施設、作業所へ通っている人も多いです。皆さん地元で暮りたい気持ちは一緒だと思います。将来の事を考えると、なぜ市には入所施設がないのでしょうか。利用者が少ないとわかってた建物(失礼)を作るより、施設、ケアホームなどに市民の血税を使ってほしかったです。運営など難しい問題もありますが、親・民間団体・企業など幅広く意見を聞けばいい案も浮かんでくると思います。親が元気なうちに子供の将来が安心できる施設が出来るとなれば、それに向かって協力する親さんも多いと思います。(知的)
- ・将来親が死んだ時に、生活出来る場(住居)職場が今の瑞穂市には少なすぎます。(知的)
- ・他の市町村に委託するだけでなく、市の支援センターがあると良い。市内にショートステイなど利用できる所があると良い。市外に行くと往復に時間がかかってしまう。障がいのある子も利用できる市民プールがあると良い。(知的)
- ・本人の希望を答えることは不可能なので、親としての希望で答えさせてもらいました。やはり一番理解できる親が高齢になった時の事等、子供の将来を考えると、不安ばかり

- です。現在の瑞穂市の作業所は充実していると思うが、すでに定員に迫っています。福祉課の方ももっと目線を下げてほしい。子供達の通っている学校を訪ね、瑞穂市の子供達の現状を理解してほしい。できない事が多いから、困っている事を理解してもらいたい。親としてももちろん一人で生きていけるよう努力はするが、福祉サービスの充実、障がいのあるなしに関わらず、将来に望みのもてる市作りを強く希望します。(知的)
- 他の市町村に比べて瑞穂市の障がい者の福祉サービスはとても遅れていると思います。現在進行している施設でも、受け入れ人数が少なくてすぐにいっぱいになってしまいます。もっと一般の人も障がい者も安心して生活出来るようにしてください。(知的)
 - 瑞穂市内に24時間対応のショートステイサービスが出来る施設が必要。緊急時に必ず利用できるサービスでないと利用したくても利用できない。利用する側は今のサービスを提供している事業所の数や定員を考えて、本当に困っている人だけにしてほしい。(誰でもいつでも利用できる事が望ましいが)(知的)
 - 両親がいる間は不安はないのですが、両親の高齢化、病気等の場合生活していけるのか心配。(知的)
 - 作業所に行くのに送迎バスがあるといいと思います。(知的)
 - 福祉の事など現在『地域で』と言われている中で『瑞穂市ではなく県全体で考えてください』と言われたと言う話を聞きました。市内に住んでいる障がい者と施設の割合が合わないのを早く整えてもらいたいので、その考えでは話が進まないと思います。高齢者の方も多いですが、障がい者もたくさんいることはわすれていませんか。後回しにされているように思われる事があります。子供達の事も考えてください。(知的)
 - 親が(特に父親) 生きている間はいいのですが、いつまでも子供と暮せるか分からないけれど親が亡くなってからの事が一番不安で心残りです。(知的)
 - 知的障がい者の施設を瑞穂市内に作ってください。お願いします。(知的)
 - 瑞穂市に障がいのある子供を預ける所がないところがまずだめ！これからもどんどん増えていくのはわかっているんだから小さいうちから預ける所、学校卒業して働ける所、年老いて家族ともはなれてからも一人で安心してすごせる所を確保してください。親はこの子を残して安心して死ねない。協力しろと言われればなんでもするので、お金がない、予定がないと簡単な言葉で片付けないでほしい。障がい者でも障がい者でもそんなことどうだっていい。そんなムダな事考えている暇があったら、土地とか見に行っただけの建てるくらいの計画を立ててほしい。ショッピングモールはもういらんでしょうと思います。(知的)
 - 親が元気なうちは子供の送迎ができるが、それが出来なくなった時の子どもが作業所へ通う方法がみつからない。困った時(急な場合) 本人が一人で留守番が出来ない時の居場所がほしい。(知的)
 - 介助が常に必要な状況であるが、市内に利用施設、事業所がなくショートステイ、デイサービスなどを居宅の申請がおりていても使用したいが遠方でなければ利用できない。家族が病気、入院になったり、急な葬式、法事などの時、介助する家族と共に家にいなければならない。長期休暇(夏休み等)に利用できる場がないため、家族の負担が大きい。特別支援校卒業後の就労が出来るかどうか、金銭面やグループホームなどの居住面で親が介助できなくなった時、自立して生活していけるか不安である。(市の援助があるのか分からない)(知的)
 - 私は1人暮らしなので姉がいるうちはよいですが・・・困ります。(精神)
 - 交通費をカードを発行して本人は無料、付添人は半額にしてほしいです。岐阜市とか名古屋等はしてみえる様な話を聞きました。いろいろな所へ連れて行かれ楽しませたいです。国鉄にも交渉していただきたいです。自動車がなかったので。精神障がい者です。(精神)
 - 障がい年金は資格がある年数分は、障がい者から連絡してしかもらえない。さかのぼってでももらえるものは、もらう権利があると思う。生活していく上で必要だから思う。(精神)
 - 障がい者が、親が死んだりして一人になった時に助けてほしい。生活上のスキルがそれ

程頑張っても向上しないし、精神的な強さもあまり向上したりする事も少ないのが（ほとんどない場合が多い）現実なので、助けてほしい。もっと言えば守ってほしい。精神障がいというものがどういうものなのか、もっとよく解明されると良いと思う。（精神）

- ・サービスについては事業所、支援センター自体が市内にないため市外に出ざるを得ず、体調の悪い時は困難です。常時世話の必要な家族を抱えているため、自分の支援よりも前に家族に支援を受けさせてやりたいです。障がいがあっても地域、子供の学校の役員の免除がないため、大変苦勞しながらやっていますが、仕事をしていないため休む事が許されない状況で体調を大きく壊してしまいました。（精神）
- ・生活の助成の面での支援がまだ不十分と思う。ケアマネージャーの数・質の充実をはかっていただきたい。状況は決して甘いものではない。より草の根的な保護を行ってくださる事を望みます。（精神）
- ・1. 瑞穂市に転入してきて施設等をパンフで案内していますが、施設を決定するのはあくまでも利用者とのことです。転入先の住所等施設の利便性を勘案し行政としてある程度の指導をすべきだと思います。
2. 施設も行政がある程度ランク付けして、利用者が選択しやすい案内書等を作成する事により施設の方もランクが上がる様努力していくと思います。
3. 介護士、ヘルパーさん等もランク付けして時間当り単価も決定してゆけば向上していくと思います。介護で一生懸命働いてくれている人が報われると思います。（精神）
- ・障がい者向けの公営住宅があるとよいと思う。作業所の整備。（精神）

（3）相談・情報提供について

- ・瑞穂市の広報で、福祉サービスに関する情報をいろいろと教えてもらいたい。（身体）
- ・現在子供が岐阜特別支援学校に通っていますが、学校では時々福祉サービスに関する説明会を（岐阜市の窓口の人を呼んで）行ったりしてくれて、わかりやすく話を聞いてもらう会なども開いてもらっています。瑞穂市でもこんなのがあったらいいのにねと今日も話していた所です。結局の所そういう情報は、文章で書いてあるものを読むよりも実際にあって話を聞いてもらって本人を見てもらって話をするのが一番話が早いんじゃないかなとは思いましたが、なかなか何もなくてこちらから聞きに伺う事もないかなと思ったりするのも本音です。（身体）
- ・医療制度が変わります。それに対応して資料を送付してほしい。通院介護の充実をしてほしい。（身体）
- ・電車を駅で待っている時、何かのトラブルで電車が少し遅れる場合、ホームで放送されても私達には聞こえません。時間が過ぎても電車が来ない、おかしいな、乗る場所を間違えたのかととても不安になります。テロップで流してもらえると本当に助かりますが、小さな駅ではまだまだです。（身体）
- ・福祉サービスの詳しい資料が欲しいです。（例）災害時における準備は何が良いか資料が欲しいです。（身体）
- ・いろいろな福祉サービス等実施されているとは思いますが、どの様な事をやっているのかとかわかりません。わかり易いパンフレットとかを障がい者がいる家庭に配布していただけたらうれしいです。岐阜県身障協会からは出ているとは思いますが、瑞穂市でどのような取扱いをしているとか記入してあるのがいいです。（身体）
- ・私は最近障がい認定を受け、市のお世話になりました。関係窓口での職員の対応は親切でありがたいです。障がい者がとかく情報にうとくなります。これからもよろしく願いします。（身体）
- ・保健・福祉施設のPR（場所・スタッフ人員・電話番号）を充実してほしい。（身体）
- ・福祉に対してすごく遅れていると思います。色々な面で相談しにいてもなかなかいい回答がかえってこない。知識情報もないのでないかと思えます。もっと勉強して欲しいです。障がい者就業、生活支援センターを作ってほしいです。心の支えになってほしいです。安心して相談出来る場所がほしいです。今の時代に親の面倒も見ない子供が増え

るといふのに障がい者は余計に面倒なんか見てもらえないです。だから親も高齢化してきたのでいつ病気になっても入院した時にこの子達がしっかりと面倒を見てもらえる施設がほしいです。親は死ぬにも死ねないのです。この間親が子供を殺害されました。その気持ちがわかります。考えてほしいです。(知的)

- どんなサービスがあるのかわからない。(知的)
- 本市に 24 時間対応の障がい者の相談支援センターがあってほしい。(委託でなく本巢市の「のぞみ」のような所) 本当に必要などころにお金を使ってほしい。(大切な税金なので) ムダな建物等は作らない。民間に委託する方法もあると思うが、私達親も行政に依頼するばかりでなく、親が資金を出しあって、中核の物を作っていくべきだとも思っています。(知的)
- 知らなすぎるのかも知れませんが、このアンケートに記してある福祉サービスがこれほど多くあることと内容を知りませんでした。先日学校の方から、西濃障がい者就業・生活支援センターの方の話を聞き、初めてそういった支援センターがある事と、高校 1 年生から登録しておける事も知りました。その場では時間がなく詳しく聞けないままで、ではどう登録をすればいいのかという問題にぶつかりました。もう一度学校で詳しく聞いてみようと思っていますが、いろいろなサービス・支援センターがあってもいざ利用しようと思ってもどうしたら良いのかわかりません。(どこに連絡するの？登録が必要？本人がいけない時は？パソコンを使ってと言われても使い方がよくわからない等) 一覧表のようなものを作って頂き出来れば手許にほしいです。例えば△△サービス→〇〇の支援、×才～受けられる、登録必要なし、連絡先 000-0000 など(知的)
- 瑞穂市としての福祉サービスや利用方法「障がい者自立支援法」をわかりやすく書かれている…等のガイドブックのような冊子を作ってもらいたいです。(知的)
- 学生の間は学校や親に保護されていて、特に今困っていることはありませんが、将来の事は不安なことばかりです。いろいろな情報を個別に定期的に提供していただくと(希望者)助かります。福祉工場を作ってください。(知的)
- サービスの内容がわかりづらい。こちら側が～について～があると聞きましたが、と聞いて初めて説明をうけるとかではなく、こういう状況ならばこういうサービスを受けられてはどうですか、でも良いと思う。障がいのある子供がどんどん増えているにも関わらず、病院・作業所など全く足りてない。一人っ子なので将来が不安。障がいのある子に対しての目が冷たく感じる。デイサービスを他市に頼っているのが・・・。(知的)

(4)教育・育成について

- 支援学級が瑞穂市にはないため、他の市への通学になりますが、その為のバスなど出してはもらえないでしょうか。学校を作ることはすごく大変ですが、車椅子で乗れるバスを朝夕と 2 回ずつ走ってもらえるととても助かります。スクールバスがある学校でも定員オーバーと言われ、バスに乗れず、親の送り迎えになっています。行き帰りで(1 回の) 1 時間かかっているのは親の負担も大きくなっています。新しくできた本巢支援学校は特に通いたくても通えません。せっかくな学校が出来たので、朝夕と瑞穂市のバスを出していただくととても助かります。ぜひよろしくお願いします。(身体)
- 学校が心配です。特別支援学級の担任の先生が子供を理解し、その子に合った指導や教育をしてくれるのかと。若い方～成年・中年層の方の方が体力もあるし、理解力がある様な気がします。定年前の先生では、多動傾向の子供を指導するのは負担が大きいと思います。そういう配慮をして担任の先生を決めていただけないのですか。もっといろんな課や施設の先生が連携して欲しいです。親が仲介に入るのには限界があり、伝えたい事が言い切れません。またもっと先生方の研修の場を増やしたり、先生の人数を増やしてほしいです。今のままでは先生一人の負担が大きすぎて申し訳なくて、いろいろ依頼したり相談したりするのを遠慮してしまいますし、子供に目が行き届かなくなってしまう、トラブルがおきてしまいます。また遠い将来を想像する事が出来ません。もっとサービスを充実させて親が安心して死んでいけるようにしてほしいです。親が働けるように子供の面倒を見てくれる方がもっといてくれたらと思います。(知的)

- ・知的障がいのある中学生の男の子の親です。特別支援学校が本巢にでき、だんだん住みやすくなってきたなあと感じていました。しかし学校までの交通手段がスクールバス以外になく、もちろんJRと岐阜バスを乗り継いでいけば行く事が出来るのですが、障がいのある子に自立通学はとても難しく、頼みのスクールバスも満員で、今後入学していく子ども達は乗れないということでした。片道15km程の道を毎日送り迎えするのは大変な事です。瑞穂市には関係ないことかもしれませんが、実際この市に住む多くの親子が直面している事なのです。例えばですが、みずほバスを朝夕1本ずつでもよいので本巢の方へ(遠いですが)運行するとか、みずほバスで本巢特支のスクールバスのサポートはできないものでしょうか。(知的)
- ・現在小学4年生です。言語訓練に月に1~3回程度通っています。市内には小学生に対するいろいろな訓練施設はありません。病院での訓練も小学校入学で終了させられるところがほとんどです。(娘は無理いって続けさせてもらっています)学校でやるから・・・という理由ですが、学校では国語の語学理解の授業はありますが、発音等の授業はありません。というかできないとのこと。小学生が通える訓練施設を作っていただくか、学校に先生を派遣して授業ができるようにしてもらいたいです。学校の登下校の介護をしてもらえるサービスがあると自立などを考えるに当たってありがたいと思います。心臓病を持つ娘なので集団での子供達だけの移動は心配です。障がい児を持つ親は、それぞれ悩みがありますが、悩みを話す場がなくストレスを感じている親が多いと思います。特に何をしてもらいたいとかはないのですが、親のつながりを持てる場があると嬉しいです。(知的)
- ・小学生になっても、月に1~2回程度のデイサービスを利用できる療育の場があるととても助かる。友達を作って遊ぶという事は本人にとってとても難しい。自分の気持ちを上手く伝える事ができないため、いつも一人で遊んでいる。障がい軽い子もいれば重い子もいると思いますが、もう少し広い目で、弱い人の事を考えてほしい。普通の人には簡単に受け入れがあっても障がいがあるというだけで受け入れないのは不公平です。働きたくても働けないので市の中で働いていなくても3歳くらいから受け入れのある幼稚園が近くにあると助かる。(知的)
- ・小学5年生です。中学になって本巢特別支援学校にいきたいと思います。学校のバスが定員がいっぱいと聞きました。岐阜バスでの通学は不安です。毎日遠いところへの送り迎えも、他の兄弟の事を思うと大変です。何とか考えてください。(知的)
- ・現、中学校までずっと送り迎えをしています。今までどうしてもむかえの時間に間に合わないときがあり、私が戻るまでの間たとえば1~3、4時間預かってくれる所がなく、自分の用事を諦めてきました。障がいがあっても預かってくれる学童保育、専門的ケアをすることが市内に何ヶ所かあってそこまでの移動もしてくれるようなシステムがあればどんなにありがたい事か。来年度本巢特別支援校に入学予定です。自立を目指して自力通学を目指していますが、瑞穂から本巢支援校までのバスがありません。市として岐阜バスに協力をお願いしていただけたらと思います。私もどのように動くかよいか様々な方々に聞いて活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。(知的)
- ・瑞穂市には知的障がい児の療育の場がないため、他の市町村に行かなければならないし、運転免許がない人にとつたらすごく不自由です。昔からの幼稚園が民営化のためになくなるのはやめて欲しい。(知的)

(5)雇用・就業について

- ・障がい者就職面接説明会に数回参加するのですが、なかなか就職が出来ずにいる為、生活する上にお金がないので困っている。せめて厚生年金が支給出来るまでは働きたい。(身体)
- ・車の免許もなく、自転車も乗れない者として近場に働く場所がなく毎日胸を痛めている。(身体)
- ・授産施設などの福祉的な仕事場を市内のあちこちにたくさん作ってほしいです。女の子

- なので自宅から歩いて通所できる施設に通いたいです。親が元気なうちは自宅から通わせたい。傍においておきたいという思いがあります。通う手段も自力で毎日通えなければ意味がありません。時計を理解する事もできない、漢字もあまり読めない子に公共の交通機関を使わせることはとても難しい事です。大規模ではなく小規模の施設が市内のあちこちのたくさんあれば、大勢の人が自力で毎日通う事が出来ると思います。親亡き後のこともとても心配です。グループホーム等充実してもらえるとありがたいです。私たちはどうしても市の福祉を頼らざるを得ません。どうぞよろしくお願いします。(知的)
- ・将来働く場が充分整備されているとは言えないので、今小学生・中学生の子が大人になっても働く場がしっかり整備されている事を願います。(これからの子すべてが働けるよう願います)療育の場が、小学校入学までではなく、高校卒業まで受けられるようにしていただきたいと思います。(知的)
 - ・私は給食センターで2回実習をさせてもらってとてもよかったです。やってみたい仕事でした。就職できないと聞いた時は悲しかったです。私は一人っ子なので両親がいなくなった時が不安です。(知的)
 - ・瑞穂市には豊住園とすみれの家の作業所があり、これから卒業する子供たちが多いので、瑞穂市にもう1つ作業所を作ってほしいと言って訴えてきました。先日もう1つ作業所が増えると障がいを持つ親達は喜んでいましたが、すみれの家が巣南の給食センターに移動するだけで、もう1つ増える話は今のところなくなると聞きショックでした。多分少しだけ受け入れる人数が多くなるだけで、作業内容もあまり変わらないと思うし。豊住園は人数がいっぱいなので次に入るのはすみれの家・・・と言って選択も出来ない様な感じで・・・そのすみれの家が新しく移って、人数がいっぱいになったら、次の施設を・・・という考えの市の方々の意見はよくわかりません。作業所を移動して、人数も増やしてもすぐに又入れなくなる子供たちもいるのだから早めに作ってほしいし、そこしか行けないというのもどうかと。作業内容も障がい重い子、軽い子、すべての子供たちが平等に通える施設を市にはつくってもらいたい。卒業と同時に学校でやっていた作業と同じような仕事もあればスムーズに子供たちも対応できると思う。もうすぐ卒業がせまっている母親たちにとっては、子供の将来はとっても不安です。作業所に通える事が今の私達の夢なので、なんとか市にも協力してもらい力になって頂きたいと強く思います。よろしくお願いします。(知的)
 - ・障がい者に応じて働ける仕事(安定した収入) 場所を増やしてほしい。(知的)
 - ・以前、授産所の施設の設定に関して、市の方に申し入れ受けてもらったので安堵していたのですが、今年春にはもう新しい地所の選定にはいつているという事だったのに、今ある場所をほんの少しだけよゆうのある規模にするために移動にはいつているため、新設が見送りになってしまったとの事。私の場合、まだまだ先の話だが、来年、さ来年の方々はおどろきと怒りの声を上げておられました。ぜひとも少しでも早い実現をお願いしたいと思います。(知的)
 - ・市の豊住園とすみれの家はまもなく定員がなくなると聞いています。一般就労はとても難しいため、定員を増やすか新しい作業所を作って安心して卒業できるようにして欲しいです。(知的)
 - ・就労の手助けはあっても、実際受け入れてくれる所はどれだけあるのか知りたい。障がい者が働きたくても働く所は少ない。就職してもすぐにやめることになる。地域の方が障がい者と一緒になって生活していく気持ちがほしい。障がい者は親亡き後どうしたら良いのか、生活出来る施設の整備を希望する。費用はある程度やむえない。親亡き後、グループホーム、ケアホームで生活して、終末には兄弟などが住んでいるところへ帰りたい。そのために生活出来る施設の整備をしてほしい。市の障がい者に対する施策を明確にして。知りたい。(知的)
 - ・このまま小規模作業所でやっていけるかどうか不安です。親が年をとったときなどを考えると不安で、障がい重い人でも入れるような入所施設があったらいいなあと思います。(知的)
 - ・近い将来では学校卒業後働く場所があるのか不安です。また、そこまでの交通手段など。

(知的)

- ・将来特別支援学校高等部を卒業した後（8年後）地域の授産施設の定員がいっぱいになりそうで不安です。授産施設や福祉的な仕事の場の整備、充実をお願いしたいです。（知的）
- ・就業できるかどうかが一番不安です。今高2なので来年ぜひ就職出来る所が出来たらと切実に思います。豊住園もすみれも岐阜県の施設、作業所は定員オーバーでとても厳しい状況なので、何とか対応して下さるとうれしいです。よろしくお願いします。（知的）
- ・親亡き後の子供の生活の不安、作業所への送迎。（親が病気の時など）（知的）

(6)スポーツ、レクリエーション、文化活動の振興について

- ・現在5級の障がい者ですが、瑞穂市(元瑞穂町)の時から何の特典もなく、バスで日帰り旅行があっても誘いもなく、ただ手帳を持っているだけで今に至っている。（身体）

(7)まちづくり(バリアフリー、防犯・防災対策等)について

- ・市民センターの障がい者のトイレが事務所の裏側は遠い。利用する部屋の方にトイレがないのが気になります。2ヶ所にあってもいいのではないかと。（身体）
- ・駐車禁止の除外指定が4級の下肢障がいは受けられないとの事です。（今は受けています）。今後スーパーや病院など近くの駐車場に止める事ができなくなるので、瑞穂市内だけでも止めていいような標識など作ってほしいです。（身体）
- ・タクシーの無料券については、車の所有の有無に関わらず配布してほしい。みずほバスを市の墓地にも回してほしい。（身体）
- ・瑞穂駅にエレベーターができたのは良いが、下にあった待合室がなくなり待ち時間は立っていかなくてはならないので、とても不便です。それに瑞穂駅前送迎の車がごちゃごちゃして危ないです。歩道が整備されていないので、でこぼこしたりして危ないと思います。（身体）
- ・私自身(心臓)障がい者であり、日常行動を体力、体調を自分の体のペースに合わせて生活している(制限されている)が、同居の父が高齢・脳梗塞・車椅子で障がい者であり、母も高齢、只今検査中(内臓)であり、障がい者、高齢者がそれぞれ介護している状態である。将来が不安である。現在も体力的、精神的に不安である。気力で生活している感じ。前ページに記入(私自身心臓障がい長距離歩行は困難であり、同居父は脳梗塞で車椅子、母も高齢のため災害時どのように避難出来るか不安である)災害時の避難等が心配。市(市役所)・町で障がい者や高齢者宅を把握してほしい。(管内消防署・警察署・交番等も家を把握してほしい←市役所と連携して把握)先月も家族三人で通院11回である。(身体)
- ・自宅から出かける時は自転車しか乗れないので遠すぎてどこへも行けないので、交通機関のサービスをしてほしいです。親が亡くなったら一人になるので入所出来る施設を自宅近くに作ってほしいです。（身体）
- ・災害時は健常者もパニック状態となり、障がい者のアシストの優先順位を上げる事は困難と思いますが、一目で障がい部位と重傷度、及び必要な支援につき把握可能なプラカード又は標識を緊急時障がい者自身が身につけるか、民生委員が支援するかの方法で、第三者に識別可能な体制及び制度作りが必要かと思えます。それにより、誰でも障がい者の必要とする援助が一目で判断出来る様なアイデアがあればよいのでは。加齢・要介護状態の進展時の対応については、個々の障がい者の意思や経済状態(家族含む)を考慮の上、社会的に不公平の無い様、包括的な基準を創設し、個別に対応すべきと考えます。第一は家族のバックアップであり、それを安易な理由により公的資金でまかなうには矛盾があるのではないのでしょうか。最大限、親族等の協力をもってなお且つ最低限の文化的生活が維持不可能な自体に行政が備えるべきかと思えます。（身体）
- ・瑞穂市役所の入口を早くエスカレーターにしてほしい。（身体）
- ・横屋に居住しているのですが、自宅前に瑞穂市のバスが通っていますが、バス停が遠い

ので(裏道にバス停あり) 広い道路にバス停を作ってもらいたいです。(障がい者が歩くには少し無理) (なるべく我が家の近く) (知的)

- ・災害が起きた場合、避難場所での集団生活も難しいし、もし一人だけになった場合パニックになると思うので、どうして良いかわからない。(知的)

(8)啓発・広報について

- ・身障者に対する各種援助施策の積極的な推進を図るため、パンフレット類を配布するだけでなく、何らかの方法により、周知徹底を図り各種施策を受けられる様取り組んでほしい。パンフレット類を読んでも理解できない事があるため。(身体)
- ・選挙の投票日前(不在者投票)に3年程前市役所へ行った折、デーと偉そうに座っている3人が又3人共ベチャペチャなどとしゃべるも言いが過ぎる。その時その3人に向い私の様な車椅子、半身不随の者が用紙に記入しようとしても、クルクル動くので、川原の石でもいいですから重しをお願いしたいと言ったけれど今年春の市議選の折も何も重しがない。昔の私を含め所詮そんなものなんです。健常者は目先ではやりましようみたいな事を口にしても全て国はそんなものなんです。甘すぎる。世間で言う、やはり民営でなければ。私は言う、国地方全て職員は甘すぎる。もっと動きなさい。(身体)
- ・障がい者個人個人の現在状況をどの程度認識していますか。特に一人暮らしの人に対してです。健康な人から見ればまさかと思う事に困っている事が多いのです。(身体)
- ・健常者が障がい者用の駐車場に車を止めていたり、電車やバスの優先席に座っていたりする事がよくあります。使用したいけれど「どいて下さい」とも言えず辛い事もあります。社会的にももう少し理解してくれるとうれしいです。(身体)
- ・瑞穂市消防団に入団しています。瑞穂市は障がい者に消防団をさせていることにどう思っているのか知りたい。健常者と同等に消防団の活動が出来ない為、精神的に害する物があります。瑞穂市としてこの様な配慮が行き届いていないと思います。(身体)
- ・息子は多動で自閉症です。特に多動が目立つ為、外に出ると一時も目が離せません。スーパーに行っても片時も目が離せない(どこかに行ってしまう)ので、大変困ります。言葉も自分の気持ちが上手に伝えられない、伝えたくてもどう話していいか理解できない。とても大変な子です。今保育園に通っていますが、保育園に行き始めた頃、園長より他の子が落ち着くまで昼で帰って、早く来ないでほしい。早く迎えに来るようにと言われ大変辛い思いをしました。障がいを認めている家以上に手がかかる子はたくさんいるのに…。もう少し教育する人に愛を教育して欲しいです。(知的)
- ・子ども達の親亡き後がとても不安です。子ども達の悩み、不安等を親以外の人で理解していただけるサポーターを地域(市内)で育てていきたい。仲の良い親たちが手をつないで小さなケアホームプラス作業の場も確保できたらよいと思う。瑞穂市に「えがお」のような地域生活支援センターも必要だと思う。(知的)
- ・まだまだ障がいへの偏見や情報ばかりでまちがって認識している人など事実とは違う理解が広がっているように思います。学校も園も先生方はよく勉強され、共感して下さったり応援して下さり助かっている面もありますが、健常時の親さんにはなかなか理解応援してもらうことは難しく、堂々と生きていく環境にはないと思います。我が子がわるいわけでも親のしつけのせいでもないのに、そういう目で見られがちで、将来の不安(人間関係・生活力)は増すばかりです。地域でのあたたかい子育て支援は働く親ばかりで、実際は困難です。が、それでも自閉症だけでなく、知的障がい、アスペルガー、広汎性など大まかにでも皆さんに知っていただく自治会単位、学校単位など機会があればと思います。(知的)
- ・保育園に通園していた時、兄(当時小2)が入院し、私(母)が付き添う事になり、園長先生にお迎え時間を他の子と同じようにしてほしいと一生懸命頼んだが、他の子に手がかかって大変という理由で預かってくれなかった。本当に困った時にこそ助けてほしいのに……。正直長男が入院していた1週間、絶望の中自殺を考えていました。行政に助けてもらえず、障がいのある子を抱え、どう生きていけばよいのか不安でたまらなかった。あれから何年も経ちましたが、保育園での園長先生・主任先生の様々な心ない言葉

は忘れる事ができず、行政に対する不信感は拭い去る事が出来ません。どうか私のような思いをする障がい児を抱えた親御さんがいなくなるよう、温かな配慮を切に、切にお願い致します。私の辛い気持ちを知ってもらい、次に続く人がいなくなる事を願い、あえて名前を書かせていただきました。(知的)

- ・地域で生活していく中で、障がいがあるからといって係などの免除がないため肩身が狭い思いをする。市と事業所が一体となって、児童の介護就労支援などを行っている地域と比べると、障がい者本人や介助する家族の精神的負担が大きく、介助する体力的な不安、理解不足(地域や学校)に対する不安に本人と親のみで乗り越えていくのは大変難しいことであることを理解してほしい。兄弟の幼児健診の時「お兄さんがアレだからこの子もチェックしないといけない」「おかしい所がないはずがないから病院に行きなさい」「行かせないと私(保健師)の責任を問われるから行って書類を提出するように」と言われていきなり事前連絡もなく家に後日あがりこまれたのは今でも忘れられない不快な思いです。(知的)
- ・障がいに対する地域の理解がない為、いろいろ偏見や心ない言動に悩まされる事が多い。(精神)
- ・精神病は一生治らないと入院している人皆が言います。内心将来どうなるか不安で不安で生活しています。(精神)

(9)「障がい」という表記について

- ・障がいという言葉をかさにしていろいろ福祉の恩恵を受けていることに事に感謝を忘れていている人がいるので「障害者」表現で構わない。(身体)
- ・「障害者」を「障がい者」でマイナスイメージを和らげる福祉、わかってない者の考えそのような事やな。世界中で健常者、障がい者と言うのは日本だけで知っているのかな。こんな意図のわからんアンケート送ってくる前にやる事ないんか。机の上の福祉ばかりやな。瑞穂市はもっとグローバル目線で取り組んでくれ。(身体)
- ・「障」の字にもよくないイメージがあると思うので、全て平仮名表記で「しょうがい者」とした方がいいと思う。難聴者に対して、社会の理解があまりにも低いと思う。例)目に見える「しょうがい」ではないので、周囲の理解や助けが得られない。補聴器をつけていると聞きたい音も聞こえなくてもいい音も全て拾ってしまっ、かえって聞きづらいこともあるのに、健聴者と同じように聞こえると思込まれる。それ以前に補聴器の存在自体を知らない人がいる。だから広報みずほやインターネット etc で社会の理解をもっと広めてほしい。(身体)
- ・字にこだわるのではなく、行政の側が特別な事としてこだわっているのではないか。障がいもなにも関係ない。ただ困った時に手を伸ばせばよいのでは。現在当市では、岐阜市寺田の障がい施設のデイが利用できないそうだがどうしてなのか。当市には障がい者デイやリハビリ場所がない。行政はとかく待ちのスタンスだ。もっと情報を発信してほしい。ただ福祉行政も行っているとのゼスチャーかな。こんなにのんびりと毎回アンケートだけ行って、いざ、災害の時に間に合うですか。(身体)
- ・障がい者の漢字について 害の字をひらがなにすると、読む時に「がい」だけ強く読んでしまいます。それに「がい」だけ、ひらがなだと字のバランスが悪いと思います。身障者の方が読んでも聞いても言葉がやわらかく感じます。いかがでしょうか。(身体)
- ・「しょうがい」のひょうげんをかえたほうがよい。(知的)
- ・あまり「害」の字にこだわる事はないと思います。(知的)
- ・障がいのある人というイメージとしては和らいだ言葉に聞こえていいように思います。将来自分自身の身にふりかかるか判りません。福祉には充分なほどの充実感があつた方がいいと思います。でもボランティアの方にもいつも頭がさがります。気持ちの優しい人だと思ひます。感謝しています。これから老人大国にも接していくであろうこんな所にも福祉の目はますます大変です。人々が健康で生きていくことの重要性、ストレスが溜まらない為の社会のルールが崩れているように思われる。政治家の通合(都合)の良いい法律はもういいです。自分さえ良ければ人はどうでもいいという世の中にしないよう。

(知的)

(10)その他

- ・不満は一切ありません。ありがたく思っています。(身体)
- ・右半身不能の為結婚ができない。結婚したいと思いますが、どうすればいいですか。教えてください。(身体)
- ・私は平成7年2月10日舌癌の為、舌を半分取る大手術をしました。その為言語障がいとなりました。手術から今年で13年になりますが、今でも時々何を話しているかわからないと言われる事があります。しかし手術した時、一緒の同室であった鼻・のど・ほほなどのがん患者の多くの人々が亡くなっています。若い人達も多く亡くなりました。私は障がいはあるけれど生きていることに感謝し、逆に障がいがあるからこそガンバローと思っています。ですからあまり“障害”という言葉はどうとかいわれる事自体、差別視しているように思えてなりません。誰でもいつでもどんな人でも”障害者”になり得るのではないのでしょうか。保健福祉にたずさわって下さる職員の方も自分ももしかしたら”障害者”になるかもしれないという思いで、たずさって下さったらありがたいと思います。(身体)
- ・私達の税金等、いかに弱者、皆に平等に使われているか。これから瑞穂市に住んでよかったと皆が思う市になってほしい。他市から移り住んだ人達の意見(市県民税住民税が高いといわれます)。瑞穂市ならではと思われるサービスをより多く考えてください。(身体)
- ・福祉課の担当職員たちの対応は冷やかで事務的すぎるように思う。初めて障がい者となった家族などの質問や不安に対するもっと暖かい対応を希望する。(身体)
- ・役場の窓口の対応(障がい者又は代理人に対する対応)が悪い。(身体)
- ・市役所の福祉課の方にとってもよくしてもらっています。親切で誠実に対処してもらって感謝しています。保育所や学校について相談した時も、児童・高齢福祉課の方に親切にしてもらい、また保育所でもよくしてもらい感謝しています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。(身体)
- ・保険料の滞納の場合、高圧的な物言いが気にいらぬ。本人としては納入しようとしても余裕が無い。(身体)
- ・アンケート調査する事には反対ではありませんが、アンケートの内容に不満があります。「あなた自身について・・・」の所だけは必要ないように思います。特に小学校区だけはやめてほしい。(身体)
- ・内臓疾患であるものの、日常生活は健常者と同じ生活をしているので、特に福祉サービスを受ける必要もなく生活しているので現状はわかりません。ただ用があり、市役所の福祉生活課に赴くと、どなたも窓口に来てくださる方は丁寧でとても感じがよく手続を済ませる事ができます。ありがとうございます。(身体)
- ・特に要望はなし。今のままでいいと思う。(身体)
- ・充分働ける体ですから今のところ生活の不安はなし。将来はわからないけど。(身体)
- ・福祉課の人事異動はあまりしないで下さい。せつかく人間関係をこちらは作りつつあるつもりでいても人間が異動したら又やり直しだし、福祉課の知識不足になりますので、よろしくお願いします。(知的)